

令和7年度 第62回 名古屋市中学校総合体育大会実施要項

1. 趣 旨 中学校生徒にスポーツ実践の機会を与え、生涯スポーツに親しむ態度と強靱な体力の育成を図るとともに、学校体育の振興を図る。
2. 主 催 名古屋市教育委員会 名古屋市小中学校体育連盟
3. 後 援 名古屋市教育会
4. 主 管 名古屋市小中学校体育連盟各運動部
5. 参加資格 (1)名古屋市小中学校体育連盟に加盟している中学校の生徒であって、学校長が参加を認めた者とする。
(2)参加資格の特例(詳細「名古屋市中学校総合体育大会に関わる参加資格の特例」による。)
6. 日 程 「令和7年度 第62回名古屋市中学校総合体育大会日程表」による。
7. 種 目 (男・女)陸上競技、体操・新体操、ソフトテニス、水泳、柔道、バレーボール、剣道、卓球
バスケットボール、ハンドボール、バドミントン
(男女)サッカー、軟式野球、ラグビー (女)ソフトボール
※1 サッカー、軟式野球、ラグビーについては、男女混合チームを編成できる。
※2 ① 複数校合同チームの参加にあたっては、「名古屋市中学校総合体育大会に関わる複数校合同チーム参加規程」による。(⑩参照)
② 複数校合同チームを編成した場合、当該校の校長はその旨を名古屋市小中学校体育連盟会長に申請する。(申請書⑩を大会参加申込一週間前までに小中体連事務局に提出する)承認できない場合のみ、小中体連事務局より速やかに当該校へその旨を通知する。
③ 複数校合同チームで大会に参加する場合は、参加申込書⑨を関係種目運動部長へ提出する。関係運動部長は、その写しを小中体連事務局に提出する。
8. 引率・監督・コーチ (1) 出場するチーム・選手の引率・監督は当該校の校長・教員・部活動外部顧問を原則とする。
(2) コーチは各種目の実施要項による。また、外部指導者(コーチ)をおくことができる。外部指導者(コーチ)は、当該校の校長が適切であると認めた者とし、所定の「外部指導者(コーチ)確認書(校長承認書)」に必要な事項を記入し、参加申し込み時に提出する。ただし、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者(コーチ)にはなれない。また、同一人が複数校の外部指導者(コーチ)にはなれない。(水泳、水泳飛込、陸上競技、体操競技、新体操、卓球は除く)
(3) 大会参加について、校長・教員・部活動外部顧問が引率できないと校長が判断した場合、校長が適切であると承認した外部指導者(コーチ)に引率・監督の資格を認める。
9. 競技方法 競技は全てオープン参加とする。
10. 順位 種目別の順位決定は、当該種目の競技規定による。
11. 表 彰 (1) 種目別(男女別)の優勝校には、優勝盾(持回り)、入賞3位までには、賞状と賞品を授与する。
(2) 個人種目の3位までには、賞状と賞品を授与する。
(3) 種目別の部において、3年連続優勝した学校に対し、各種目の開会式に記念品を授与する。
12. 開閉会式 種目別に開閉会式を行う。
13. 申 込 (1) 期限「令和7年度 第62回名古屋市中学校総合体育大会種目別 期日・会場等一覧表」による。
(2) 方法 当該の小中体連運動部長宛に申込。(申込書記載の個人情報は大会以外の目的には使用しない。)
14. 応急処置 本大会の競技中に負傷した場合は、管理者で応急の処置をする。
※「日本スポーツ振興センター」の災害給付対象とするため、出場各校は、校内で作成する各運動部の部活動動画表等に「名古屋市中学校総合体育大会に参加」と明記しておく。
15. その他 (1) 暴風、大雨等への対処
 - 4教教第6号の教育長通達に従う。(P 29・30 参考資料1 参照)
 - 午前6時現在発令中、または、発令が予想されるときは、当日の大会を中止する。
 - 競技中に警報が発令された場合は、直ちに競技を打ち切り、生徒を帰宅させる。ただし、気象状況によっては、待機させる措置をとる場合がある。(2) 避難指示、緊急安全確保及び特別警報への対処
 - 3教指第531号の教育長通達に従う。(P 31 参考資料2 参照)
 - 大会開始前に発表された場合は、大会を中止する。
 - 大会開催中に発表された場合は、ただちに大会を中止する。その場合、災害の状況及び気象・交通機関・帰宅経路等に係る情報収集並びに生徒の生命及び安全を確保する最善の対応(会場留め置き、外部の避難場所への移動、保護者への引き渡し等)を迅速に行う。(3) 熱中症に関する取り扱いについて(P 32・33・34・35・36 参考資料3 参照)
 - 大会中は、常に健康観察を行い、長時間の運動の際には、こまめに、水分・塩分を補給し、適宜休憩を入れるなど、熱中症の予防に努め、異常が見られた場合は、速やかに必要な措置をとる。
 - 可能な限り冷房のある休憩室を確保し、WBGT測定器、体温計、補水液等を準備する。
 - 熱中症予防に関わるデータ収集と今後の予測を確認し、(公財)日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」の熱中症予防のための運動指針(WBGT31以上では、「特別な場合以外は運動を中止する」)を用いることを原則とするが、WBGT31以上になった場合は、市教委へ報告し、措置を検討する。また、事前に各運動部で、競技の特性を考慮し、柔軟な対応(給水タイムや休憩時間の増加、選手交代の規程の緩和、試合時間の短縮、延長戦規程の見直し、中止・延期と判断した場合の県大会出場校の選出方法等)について、出場校に周知する。
 - 熱中症事故防止等については、選手のみならず、観戦者・審判等、大会関係者すべての安全管理に万全の対応を講じることとする。(4) 地震発生時等への対処
 - 31教指第1号「地震に対する安全対策と指導について」を基本とし、大会に関係する項目については、その通知に準ずる。(P37～P40 参考資料4 参照)(5) 愛知県中学校総合体育大会へは、名古屋支部から代表出場する。なお、その出場にあたっては、愛知県中学校総合体育大会実施要項による。
- (6) 大会前日、熱中症特別警戒アラートが発令された場合は、大会の中止・延期または開催方法変更を市教委・小中体連事務局と検討し、当該チーム・選手・関係者へ連絡する。

名古屋市中学校総合体育大会に関わる参加資格の特例

名古屋市小中学校体育連盟

- 1 学校教育法 134 条の各種学校（1 条校以外）、または特別支援学校（中等部）に在籍する中学生
- 2 地域クラブ活動に所属する中学生
 - (1) 地域クラブ活動に所属し、名古屋市中学校総合体育大会に参加を認められた名古屋市在住、名古屋市内学校に在籍もしくは、主な活動場所が名古屋市内である地域クラブ活動に所属する中学生であること
 - (2) 名古屋市中学校総合体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
 - ① 名古屋市中学校総合体育大会の参加を認める条件
 - ア 名古屋市小中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。
 - ウ 日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
 - エ 『運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン』（平成 30 年 3 月スポーツ庁発出）の「2 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進、3 適切な休養日等の設定」を遵守していること。
 - オ 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは愛知県中学校総合体育大会を主催する県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で愛知県小中学校体育連盟に登録していること。
 - カ 名古屋市小中学校体育連盟の関わるすべての大会等において、競技役員や審判等、運営上必要な事項に協力すること。
 - キ 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。
 - ② 名古屋市中学校総合体育大会に参加した場合に守るべき条件
 - ア 名古屋市中学校総合体育大会実施要項を守り、出場する競技種目の競技別実施要項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 名古屋市中学校総合体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - エ 団体競技における地域スポーツ団体名での出場は 1 チームのみとする（複数チームの参加はできない）
 - オ 地域クラブ活動の主な活動拠点は名古屋市内とする。
 - ③ 参加を認めない場合
 - ア 名古屋市中学校総合体育大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

※1 この特例は、令和 6 年 4 月 1 日より施行する。

※2 この特例は、運動部ごとに大会参加に関する細則を加えることができる。

※3 この特例は、今後も検討を続けていく。

名古屋市小中学校体育連盟 地域クラブ活動加盟規程

名古屋市小中学校体育連盟

(目的)

第 1 条 この規程は名古屋市小中学校体育連盟への地域クラブ活動の加盟に関し必要な事項を定めるものとする。

(加盟団体)

第 2 条 加盟団体は、次の要件を具備しなければならない。

- 1 名古屋市小中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- 2 事務局等が愛知県内に所在し、主な活動拠点が名古屋市内であること。
- 3 当該競技を所管する中央競技団体もしくは愛知県中学校総合体育大会を主催する県競技団体に登録されていること。
- 4 日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
- 5 『運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン』（令和 4 年 12 月 27 日スポーツ庁・文化庁発出）の「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。
- 6 代表者及び指導者等が他団体・学校との重複登録をしていないこと。
- 7 名古屋市小中学校体育連盟の関わるすべての大会等において、競技役員や審判等、運営上必要な事項に協力すること。
- 8 1 団体の同一競技での参加は、1 チームのみとする。
- 9 大会参加に際しては、団体においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- 10 名古屋市小中学校体育連盟の決定に従うこと。
- 11 大会参加に際しては、各競技要項に従うこと。
- 12 その他、名古屋市小中学校体育連盟の必要求めに応じること。

(加盟申請 愛知県小中学校体育連盟への加盟)

第 3 条 加盟団体は、次の事項を記載した加盟申請書等を、期限日までに名古屋市小中学校体育連盟事務局（名古屋市教育委員会活動振興室内）に提出しなければならない。また、本連盟への登録内容は第 2 条 3 における登録内容と同様であること。

- (1) 愛知県小中学校体育連盟地域クラブ活動申請書（様式 1）
- (2) 団体役員名簿（様式 2）
- (3) 団体規約
- (4) 愛知県中学校総合体育大会参加誓約書（様式 3）
- (5) 団体加盟料 ※後日納入
- (6) その他必要書類

※申請時には 1 から 4 までを提出し、団体加盟料（1,200 円）は書類確認後に納入する。

2 愛知県小中学校体育連盟会長は、申請を受理したときは、これを加盟させることができる。

(報告及び届出義務)

第 4 条 加盟団体は、役員及び団体等に変更が生じた場合は、速やかにその旨を届けなければならない。

(脱退)

第 5 条 加盟団体として著しく不適当と認められるに至ったときは、常任理事会の決議を得て、これを脱退させることができる。

(附則) この規程は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

令和7年度 第62回名古屋市中学校総合体育大会 〈日程表〉

月	日	曜・祝等	軟式野球	ソフトボール	陸上競技	新体操	柔道	水泳	ソフトテニス	バレーボール	バスケットボール	サッカー	ハンドボール	卓球	バドミントン	剣道	ラグビー
4	27	(日)															○
	29	(火祝)															○
5	3	(土祝)															○
	10	(土)	○														
	11	(日)	○														○
	17	(土)	○														○
	18	(日)	○														
	24	(土)	○														
	25	(日)	○														
	31	(土)	○		○												
6	1	(日)	○		○												
	7	(土)	○	○													
	8	(日)	○	○													
	14	(土)	○	○													
	15	(日)	○	○													
	21	(土)	○	○													
	22	(日)	○	○													
	28	(土)	○	○					○			○					
	29	(日)	○	○					○								
7	5	(土)	○	○		○	○		○			○	○				
	6	(日)	○	○					○			○	○				
	12	(土)		○			○		○		○	○	○	○			
	13	(日)		○					○		○	○	○	○			
	19	(土)		○					○		○	○	○	○	○		
	20	(日)			※				○		○	○	○	○	○		
	21	(月祝)		○				○	○	○	○	□	○			○	
	22	(火)		○					○	○						○	
	23	(水)		□				※		○	○	○					
	24	(木)					※				○	○					
	25	(金)				※				※		□	※		※	※	
	26	(土)		※													
	27	(日)										※		※			
	28	(月)	※						※		※						
	29	(火)															
	30	(水)															
	31	(木)															

(□：予備日 ※：県組合せ日)

令和7年度 第62回名古屋市中学校総合体育大会〈種目別 期日・会場等一覧表〉

種性	期日	会場	競技方法	申込期日	監督会議会場	備考
軟式野球	男女 (混合可) 5月10日(土) 11日(日) 17日(土) 18日(日) 24日(土) 25日(日) 31日(土) 6月1日(日) 7日(土) 8日(日) 14日(土) 15日(日) 21日(土) 22日(日) 28日(土) 29日(日) 7月5日(土) 6日(日)	パロマ瑞穂野球場 他	1校1チームによるトーナメント ※4回戦まで相互審判制	4月14日(月) 学校行事予定 (別途送付) 5月7日(水) 参加申込書 1部… 名南中に データで送信	4月19日(土) 名南中学校 9:00～	公認M号 塁間 27.43m 投捕間 18.44m 県中総予選を 兼ねる。
ソフトボール	女 6月7日(土) 8日(日) 14日(土) 15日(日) 21日(土) 22日(日) 28日(土) 29日(日) 7月5日(土) 6日(日) 12日(土) 13日(日) 19日(土) 21日(月・祝) 22日(火) 予23日(水)	平田学校体育センター 市内各中学校	1校1チームによるトーナメント	5月8日(木)	5月10日(土) 平田学校体育 センター 11:30～	検定3号球ゴム 検定3号バット 塁間 18.29m 投捕間 12.19m 県中総予選を 兼ねる。
陸上	男・女 5月31日(土) 6月1日(日)	パロマ瑞穂スポーツパーク 瑞穂北陸上競技場	1校1種目2名 1名1種目 (リレーは除く)	5月16日(金)		県中総予選を 兼ねる。
新体操	男・女 7月5日(土)	パロマ瑞穂アリーナ	団体 各校男女各1チーム 個人 7名まで	5月16日(金)	6月13日(金) 北山中学校 15:30～	県中総予選を 兼ねる。
柔道	男・女 7月5日(土) 12日(土)	露橋スポーツセンター	団体戦 7月5日(土) 1校男女各1チーム 個人戦 7月12日(土) 体重別 男女各階級1所属3名まで	5月16日(金)	6月7日(土) 露橋スポーツセ ンター会議室 9:30～	県中総予選を 兼ねる。
水泳	男・女 7月21日(月・祝)	日本ガイシアリーナ	1名2種目 ただし、リレー種目は除く	6月27日(金)		県中総予選を 兼ねる。
ソフトテニス	男・女 6月28日(土) 29日(日) 7月5日(土) 6日(日) 12日(土) 13日(日) 19日(土) 20日(日) 21日(月・祝) 22日(火)	パロマ瑞穂テニスコート	トーナメント 団体戦 1校男女各1チーム 個人戦 1校男女各4ペア以内	6月11日(水)	6月13日(金) 御田中学校 15:30～	県中総予選を 兼ねる。

種性	期 日	会 場	競 技 方 法	申込期日	監督会議会場	備 考
バレーボール 男・女	7月21日(月・祝) 22日(火) 23日(水)	守山スポーツセンター 他	トーナメント 1校男女各1チーム	6月6日(金)	6月20日(金) 藤森中学校 15:30～	県中総予選を兼ねる。 市民スポーツ祭の予選を兼ねる。 公認球4号
バスケットボール 男・女	7月12日(土) 13日(日) 19日(土) 20日(日) 21日(月・祝) 23日(水) 24日(木)	パロマ瑞穂アリーナ 千種スポーツセンター 東スポーツセンター 守山スポーツセンター 北スポーツセンター	トーナメント 1校男女各1チーム	5月16日(金)	6月13日(金) 振甫中学校 15:30～	県中総予選を兼ねる。 市民スポーツ祭の予選を兼ねる。 男子7号革ボール 女子6号革ボール
サッカー 男女(混合可)	6月28日(土) 7月 5日(土) 6日(日) 12日(土) 13日(日) 19日(土) 20日(日) 23日(水) 24日(木) 予 21日(月・祝) 予 25日(金)	パロマ瑞穂北陸上競技場 テラスポ鶴舞 他	トーナメント 1校1チーム	6月4日(水)	6月11日(水) 東陵中学校 15:30～	県中総予選を兼ねる。 市民スポーツ祭の予選を兼ねる。 手縫い5号公認球
ハンドボール 男・女	7月 5日(土) 6日(日) 12日(土) 13日(日) 19日(土) 20日(日) 21日(月・祝)	緑スポーツセンター 名古屋市体育館 露橋スポーツセンター	トーナメント 1校男女各1チーム	6月6日(金)	6月13日(金) 平針中学校 15:30～	県中総予選を兼ねる。 ・2号公認球(男子) ・1号公認球(女子)
卓球 男・女	7月12日(土) 13日(日) 19日(土) 20日(日)	枇杷島スポーツセンター	トーナメント 硬式団体戦 1校男女各1チーム 硬式個人戦 1校男女各6名+ランキング選手	6月5日(木) (必着厳守)	6月13日(金) 守山東中学校 15:30～	県中総予選を兼ねる。 40mmプラスチック公式公認球 (ホワイトボール)
バドミントン 男・女	7月19日(土) 20日(日)	中村スポーツセンター	(団体戦)トーナメント 1校1チーム (個人戦)トーナメント	5月28日(水)	6月6日(金) 高針台中学校 15:30～	県中総予選を兼ねる。
剣道 男・女	7月21日(月・祝) 22日(火)	露橋スポーツセンター	(団体戦) トーナメント1校男女各1チーム (個人戦) トーナメント1団体男女各4名以内	団体戦、個人戦 いずれも 5月19日(月) から 6月11日(水)	6月27日(金) 7月4日(金) いずれも 長良中学校 15:30～	県中総予選を兼ねる。
ラゲビー 男女(混合可)	4月27日(日) 29日(火・祝) 5月 3日(土) 11日(日) 17日(土)	パロマ瑞穂北陸上競技場 他	トーナメント 1校1チーム	4月12日(土)	4月12日(土) 滝ノ水中学校 8:30～	

軟式野球大会実施要項

1. 期 日 令和7年5月10日(土)、11日(日)、17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日)、31日(土)
6月1日(日)、7日(土)、8日(日)、14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日)、28日(土)、29日(日)
7月5日(土)、6日(日)
2. 会 場 パロマ瑞穂野球場他
3. 参加人員 1校1チーム、監督1名、選手20名
4. 引率・監督・コーチ 本実施要項P. 1の8に同じ。
5. 競技の規定及び方法
 - (1) 競技の規定は現行の公認野球規則による。
 - (2) 試合方法はトーナメント方式とする。
 - (3) 試合回数は7回とする。ただし、
 - ・コールドゲームは全試合に適用し、4回10点差、5回以降7点差とする。なお、降雨、日没等で試合続行不能の場合は、特別継続試合として日を改めて行う。
 - ・勝敗の決しないときは、延長戦は行わず8回から特別ルールにより勝敗を決定する。(打順は継続打順から)
 - ・すべての試合に時間制限を設ける。初回の「プレイ」から90分を経過して新しいイニングに入らない。
 - (4) 選手は必ず同一ユニフォームを着用する。スネの保護にならないストッキングの着用を禁止する。
 - (5) 背番号はポジションナンバーをつける。(数字の大きさは15cm正方面度)
 - (6) 捕手は危険防止のためマスク(スロートガード付き)、プロテクター、ヘルメット、レガース、ファウルカップを着用する。また、打者、走者、捕手、次打者、ベースコーチについてもヘルメットを着用する。(打者・走者・ベースコーチのヘルメットは両耳タイプのものとする)
 - (7) リストバンド・バットリング、マスコットバットを持ちこまない。
 - (8) ベンチには次の人員以外入ることはできない。監督及び選手20名、当該学校教員(コーチも含む)2名、スコアラー1名(生徒に限る)の22名以内。ベンチ入りするコーチのうち1名は当該校の教員以外の者でもよい。ただし、校長の承認した者で当該校にあって継続的に指導を行っている者とする。
 - (9) 使用球は全国中学校体育連盟公認球(M号)
 - (10) スライディングについて
 - ・足を高く上げたり、直接野手に向かってのスライディングしたりするなど危険な行為については、守備妨害で走者をアウトにする。
 - (11) 危険行為の禁止について
 - ・審判員の注意・警告を受けた、また、改善の要求をしたにもかかわらず、危険行為を続けた場合は、当該選手、監督・コーチを試合から取り除く場合がある。
6. 参加校の選出方法
 - (1) 自由参加とする。
 - (2) 申込方法

学校行事予定(別途送付)の受付をもって、申し込みに代える。参加申込書と共に下記のように申し込むこと。なお、選手変更が生じた場合は文書で行うこと。

 - ① 学校行事予定(別途送付)
 - ・申込締切期限 4月14日(月)
 - ・申 込 場 所 名南中学校 佐藤拓弥 宛……1通
 - ② 参加申込書
 - ・申込締切期限 5月7日(水) 必着
 - ・申 込 場 所 名南中学校 佐藤拓弥 宛……1通(名南中にデータで送信)
7. 監督会議 4月19日(土) 午前9時00分より名南中学校で行う。
8. 審 判 4回戦まで相互審判制とする。
9. そ の 他 第79回愛知県中学校総合体育大会の予選を兼ねる。

ソフトボール大会実施要項

1. 期 日 令和7年6月7日(土)、8日(日)、14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日)、28日(土)、29日(日)、7月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、21日(月・祝)、22日(火)、予備日 23日(水)
2. 会 場 平田学校体育センター、市内各中学校
3. 参加人員 1校1チーム、監督1名、選手18名
4. 引率・監督・コーチ 本実施要項P.1の8に同じ。
5. 競技の規定及び方法
 - (1) 競技規定は現行のオフィシャルソフトボールルールに準ずる。
(塁間 18.29m、投捕間 12.19m で現行の規則に準ずる。)
 - (2) 試合方法はトーナメント式とする。
 - (3) 試合回数は7回とする。
 - ・7回を終了して勝敗の決しない場合は、タイ・ブレーカーを適用する。
 - ・コールドゲームは、得点差コールドゲームのみ採用する。得点差は、3回以降10点差、5回以降7点差とする。
 - ・降雨、日没、その他の突発的な事情などにより、試合の継続が不可能と判断された場合は、サスペンデッドゲームを採用する。
 - ・時間制限については愛知県中学校総合体育大会の規定に準ずる。
 - (4) ユニフォームは各学校で規定したもので、学校名もしくはマークおよび背番号(数字の大きさは、15cm以上)をつける。胸番号(6cm以上、12cm以下)をつける場合は、背番号と同一の番号とする。個人名などはつけない。ユニフォームナンバー(背番号・胸番号)は、主将は10をつけ、主将以外の選手は10・30・31・32を除く1～99をつける。
 - (5) 監督・コーチは、チームと同一のユニフォームを着用することが望ましい。(ユニフォームナンバーは監督30、コーチ31または32とする。)
 - (6) ベンチに入れる人数は、監督1名、当該校の教員(コーチも含む)2名、選手18名以内とする。
 - (7) ベンチ入りするコーチは当該校の教員以外の者でもよい。ただし、校長の承認をした者で当該校にあって継続的に指導を行っている者とする。(⑩の確認書を添付)
 - (8) ベースコーチは選手のみ出場とする。(ヘルメットを着用する。)
 - (9) 使用球は日本ソフトボール協会検定3号(ゴム)、バットは同じく検定3号とする。
 - (10) 金属製スパイク及びセラミック製スパイクの使用は禁止する。
 - (11) 捕手は危険防止のため、スロートガード付きマスク・プロテクター・レガーズ及びヘルメットを着用する。
 - (12) 髪かざり、バックル付きのベルトの使用は禁止する。
 - (13) ヘルメットは打者・走者・コーチ・次打者が着用する。
6. 参加校の選出方法
 - (1) 自由参加とする。
 - (2) 申込方法
要項巻末の申込書を作成し、下記のように申し込むこと。
 - ・申込締切期日 5月8日(木)
 - ・申 込 場 所 ソフトボール部長 辻田 唯(瑞穂ヶ丘中)宛……1通
監督会議は5月10日(土)午前11時30分より平田学校体育センターで行う。
7. そ の 他 ・第78回愛知県中学校総合体育大会の予選を兼ねる。

陸上競技大会実施要項

1. 期 日 令和7年5月31日(土)・6月1日(日) (2日間開催)

2. 会 場 パロマ瑞穂スポーツパーク 瑞穂北陸上競技場

3. 競技種目及び参加人員

(1) 競技種目

- ① 男子の部 1年100m、2年100m、3年100m、200m、400m、800m、1年1,500m、2年1,500m、3年1,500m、3,000m、110mH(高さ0.914m、ハードル間9.14m)、4×100mR、
低学年4×100mR
走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投(5.000kg)、円盤投(1.500kg)、ジャベリックスロー
- ② 女子の部 1年100m、2年100m、3年100m、200m、1年800m、800m、1,500m、100mH(高さ0.762m、ハードル間8.00m)、4×100mR、低学年4×100mR、走高跳、走幅跳、棒高跳、砲丸投(2.721kg)、円盤投(1.000kg)、ジャベリックスロー

(2) 参加制限

- ① 1団体1種目2名、1名1種目(ただし、リレーを除く)、リレーはそれぞれ1団体1チーム。2つのリレーを兼ねて出場することはできない。
- ② 低学年リレーと共通リレーのどちらかにしか、申し込み・出場することができない。競技規則TR24.10に該当するメンバー外の選手が出場する場合も同様とする。
それぞれのリレーに申し込みのあった6名以内の競技者は、すべてのラウンドにおいて申し込みしたリレーにしか出場できない。
- ③ 低学年リレーは、2年、1年、1年、2年の順とし、これ以外のオーダーは認めない。
- ④ 3,000m、棒高跳は安全性の問題からできる限り1年生を除く。

4. 競技の規定および方法

- (1) 競技規定は2025年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項および本大会申し合わせ事項を適用する。
- (2) トラック競技は、1年女子800m、1年男子1,500m、3,000mを除き、予選の上位8人でA決勝、上位9人～16人でB決勝(県大会出場決定レース)を行う。
ただし、男子2年1,500m、男子3年1,500m、女子1,500mの決勝については、予選上位16人で行う。
(A決勝進出者が決勝を棄権しても、B決勝からA決勝への繰り上げは行わない。)
- (3) 本大会で12位までの選手・リレーチーム(A、B決勝のある種目はA決勝でゴールした者とB決勝で上位4名に入った、計12名の選手・リレーチーム)に県大会の出場資格を与える。
- (4) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方

走高跳		(練習)	(試技)					
男子	1.40m/1.60m	1.45m	1.50m	1.55m	1.60m	1.65m	1.70m以上は3cm刻み	
女子	1.20m/1.40m	1.20m	1.25m	1.30m	1.35m	1.40m	1.45m以上は3cm刻み	

棒高跳		(練習)	(試技)					
男子	フリー	2.20m	2.40m	2.60m	2.80m	3.00m以上は10cm刻み		
女子	フリー	1.80m	2.00m	2.20m	2.40m	2.60m以上は10cm刻み		

以上のバーの上げ方は、グランドコンディションにより変更することがある。

- (5) 種目得点は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。
総合得点が同点の場合は、上位入賞数で決める。

5. 参加団体の選出方法

自由参加とする。

参加資格

- ・第62回名古屋市中学校総合体育大会実施要項第5項による。
- ・令和7年度より地域クラブ活動の参加を認める。ただし、リレーに関しては、登録メンバー全員が、同一学校に在籍している場合に限り、地域クラブ活動名で出場できる。また、個人種目とリレー種目は同一所属で出場しなければならない。

尚、全国大会が終わるまで、途中の所属の移動は認めない。

6. 申込方法 * (1) web 上での申込と(2)書類の申込の両方が必要

(1) web 申込

* 詳細については <http://nishi-nans21v.com/> でマニュアルをダウンロードし参照

- ① <http://nishi-nans21v.com/> にアクセスし、ログインする。

(初回利用時にユーザー登録(無料)が必要)

- ② 選手の登録を行う。

(エクセルファイル【選手登録用シート】をダウンロード → 入力 → アップロード)

- ③ 出場大会を選び、web 上にて選手のエントリーを行う。

(エントリー編集 → 一時保存 → エントリーする)

* 申込期間内は、何度でも登録の訂正が可能

* 必ず「エントリーする」をクリックし、申込を完了すること。

(2) 書類の申込※ WEB 申込時に使用した【申込一覧表】と【個人情報取り扱いの可否(エクセルデータ)】を使用

- ① 入力事項を確認・入力し、「申込一覧表」を印刷する。

- ② 印刷した「申込一覧表」に、所属長の署名をする。

※ 公印不要

- ③ エクセルデータ「個人情報取り扱いの可否」に必要事項を入力して、印刷する。

- ④ 「申込一覧表」と「個人情報取り扱いの可否」を、5月20日(火)17:00までに直接交換、または郵送で各区担当の連絡員まで送付すること。

※ 交換の場合は確実に20日(火)必着するように送付すること。

※ なお、「申込一覧表」「個人情報取り扱いの可否」がプログラム編成会議の時に届いていない場合は、必ずプログラム編成会議場まで持参すること。

※ 記録については、2024年1月1日から2025年5月16日までの公認最高記録を記入すること。

公認記録のない選手は空白とする。

申し込みについての不明な点がございましたら、振甫中学校(野口力矢)までご連絡ください。

【申込期間】

- ・(1)WEB申込: 5月16日(金)21:00入力完了

- ・(2)書類(2種類)の申込: 5月20日(火)17:00必着

※ プログラム編成作業の日程上、申込期間以降は受付不可

地区連絡員

区	氏 名	校 名	区	氏 名	校 名
中	野々村 一輝	伊勢山中	守 山	杉 村 竜 基	守山東中
中 村			千 種	奥 村 洋 介	城 山 中
熱 田			名 東	長 谷 川 裕 記	藤 森 中
北	堀 口 景 祐	北 陵 中	昭 和	浅 野 竜 也	牧の池中
西			瑞 穂	菅 田 拓	汐 路 中
東	東 哲 久	鳴 海 中	天 白	坂 井 響	高針台中
南			緑	藤 井 慧 輔	扇 台 中
港	柏 原 裕 士	宝 神 中	私 学	平 野 達 也	愛知淑徳中
中 川			地域クラブ	野 口 力 矢	振 甫 中

7. 引率・監督・コーチ 本実施要項P. 1の8に同じ

8. その他

(1) 第78回愛知県中学校総合体育大会出場選手の決定について。

- ① 各種目上位12名をそれぞれ選出する。(なお、トラック種目においてA決勝B決勝がある場合は、A決勝8名とB決勝上位4名とする)
- ② 出場辞退者が出た場合は、繰り上げて出場者を選出する。
- ③ 男女ジャベリックスローについては、記録は公認されるが県大会への出場の対象外とする。

(2) アスリートビブスについて

- ① (一財)愛知陸上競技協に、学校名や地域クラブ活動名で登録した際に割り当てられたアスリートビブスを使用する。尚、学校の登録番号を使用して地域クラブ活動名で出場することはできない。その逆も同じである。それ以外のアスリートビブスの使用は一切認めない。

※登録番号の発行には1～2日、時間がかかるため早めに登録をすること。

詳細については、愛知陸上競技協会のホームページ (<https://www.aichi-rk.jp>) で確認すること。

- ② アスリートビブスは胸と背に確実につける。走幅跳・走高跳・棒高跳は胸または背につけるだけでよい。

(3) 競技用シューズの規定について

- ① スパイクの数は11本以内で、長さ9mm、走高跳は12mmを超えてはならない。
また、スパイクの先端の直径は4mm以内とする。
- ② 現在の陸上競技のルールにより、靴底の厚さに指定がある。指定外のシューズを使用した場合は、失格になる場合がある。

靴底の厚さの規定

- ・ 800 m未満のトラック競技 : 20 mm
- ・ 800 m以上のトラック競技 : 25 mm
- ・ フィールド競技 : 20 mm

(4) 警報等の発令による大会実施、中止については、愛知陸上競技協会名古屋地区(名古屋市小中学校)のホームページで確認すること。(http://nagoyatf.xyz)

新体操大会実施要項

1. 期 日 令和7年7月5日（土）男子・女子
2. 会 場 パロマ瑞穂アリーナ
3. 参加人員 1所属男女各1チーム（男子5名 補欠3名以内、女子5名 補欠3名以内）の参加。個人参加のみも可。個人参加については、1所属7名まで可。
*団体・個人ともに地域クラブ活動の参加を認める。
名古屋市中学校総合体育大会に関わる参加資格の特例に遵守していること。
4. 引率・監督・コーチ
 - (1) ①学校からの出場
参加生徒の引率者・監督は、当該校の教員もしくは、当該校の校長が認めた引率者としての外部指導者（コーチ）に監督の資格を認める。なお、同一人による複数校（クラブ）の引率・監督はできない。なお、監督は1校につき1名とする。また、監督は他校（他クラブ）のコーチを兼任することはできない。
②地域クラブ活動（地域移行部活動）等からの出場
参加生徒の引率者・監督は、日常継続的に指導している代表者もしくは指導者であること。なお、同一人による複数校（クラブ）の引率・監督はできない。また、監督は他校（他クラブ）のコーチを兼任することはできない。
 - (2) 引率者・監督のいない場合は、出場できない。
 - (3) 学校からの出場の場合、コーチは、当該校の教員以外の者でもよい。ただし、校長の承認した者で、継続的に指導を行っている者とする。
 - (4) 学校からの出場の場合、当該校の教員以外の者を、監督もしくはコーチとして認める場合は、外部指導者（コーチ）確認書〈校長承認書〉を大会参加申込書と一緒に2部提出する。
 - (5) アリーナに入場できる者は、監督（1名）・コーチ（団体は1名、個人は選手1人に1名）・音楽伴奏係（1名：音楽コーナーに立入り）とする。ただし、コーチは、競技中は指定されたエリア内に入ることはできない。
 - (6) 監督、コーチは、本部で受付を済ませ、IDカードを必ずつける。
5. 申込方法 要項巻末の新体操申込書により、5月16日（金）までに宮野正義（北山中学校）宛に申し込む。
6. 競技規則 後に記載する。
7. その他
 - (1) 男女各参加チーム（団体参加）は、補助役員を数名出す。また、審判員を1、2名推せんすること。参加選手は積極的に会場の準備と片付けを行うようにする。
 - (2) 表彰について
団体総合は3位まで、個人総合は10位までを表彰する。
 - (3) 参加校の選出方法 自由参加とする。
 - (4) 伴奏曲や機材は、各所属で準備する。
 - (5) 第79回愛知県中学校総合体育大会の予選を兼ねる。県大会出場枠は、6月に開催される県中小体連運動部会で決定される。決まり次第参加所属に連絡する。
 - (6) 監督会議は6月13日（金）午後3時30分より北山中学校で行う。

新 体 操

1. 競技種目

		種 目	順 位
男 子	団 体	自由演技	団体演技の得点
	個 人	リング・ロープ	リング・ロープの合計得点
女 子	団 体	フープ5	団体演技の得点
	個 人	ボール・フープ	ボール・フープの合計得点

2. 競技方法

- (1) 団体競技……男女とも、自由演技の得点により決定する。
- (2) 個人総合……2種目の自由演技の合計得点により順位を決定する。

3. 採点

- (1) 男子は、(公財)日本体操協会新体操男子採点規則 2025年版及び、ジュニアルールを適用する。
- (2) 女子は、(公財)日本体操協会新体操規則 2025年～2028年版ジュニアルール及び中体連ルールを適用する。

4. その他

- (1) 手具の規格は、(公財)日本体操協会制定の規則集に準ずる。
- (2) 練習着も含め、露出度の高いもの、セパレートタイプのレオタードは禁止する。
※ただし、セパレートでもお腹が見えないタイプは許可される。
- (3) 選手は、3cm×3cm以上の学校マーク(学校名、校章、イニシャル、略称でも可)を前面ウエストより上につける。

柔道大会実施要項

1. 期 日 令和7年7月5日(土) 団体戦、12日(土) 個人戦
2. 会 場 露橋スポーツセンター
3. 参加人員 団体戦……1校男女各1チーム、監督1名、男子選手5名補欠2名、女子選手3名補欠1名
個人戦……男子8階級、女子8階級、各階級1チーム3名以内

4 競技上の規則および方法

(1) 審判規定は、国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」で行う。

- ① 試合時間は、団体戦・個人戦共に3分間とする。3回目の「指導」が与えられた時点で「反則負け」とする。延長戦（ゴールデンスコア）は、時間無制限とする。抑え込みのスコアは、有効5秒、技あり10秒、一本20秒とする。
- ② 個人試合及び任意の選手によって行われる団体戦の代表戦は、「一本」「技あり」「有効」または「僅差（『指導』の差2）」で決着がつくこととする。直接もしくは累積による「反則負け」を除き、「指導」（1回目）の違いだけでは勝者は決定しない。「指導」は、相手のスコアにならない。
- ③ ゴールデンスコアについては、規定の試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、もしくは、スコアが同等である場合、「指導」差が1以下の場合、その試合は、ゴールデンスコアに突入する。ゴールデンスコアに入る前の規定試合時間内に与えられたスコア、ならびに罰則は、引き続きスコアボードに反映される。スコアが与えられた時点で、ゴールデンスコアは直ちに終了する。ゴールデンスコア中に「指導」が与えられた場合、与えられた選手が相手よりも多くの「指導」を受けたことになる場合、その試合は終了する。
- ④ 団体戦の個々の試合の優勢勝ちの判定基準は、技の評価は「有効」以上とするが、技の評価が同等の場合、「指導」差が2以上開いたとき、少ない選手を「僅差」の優勢勝ちとする。「指導」差が1以下の場合、「引き分け」とする。代表戦は、任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝負の決定方法は、個人戦と同様とする。

(2) 国際柔道連盟審判規定（2025.4.1施行ルール）及び国内における「少年大会特別規定」への移行のため、特に次の点に留意する。

- ① 以下の場合については、「反則負け」の罰則が与えられる。
 - ア 柔道精神に反する行為をした場合には、直ちに「反則負け」が与えられる。
 - イ 攻撃・防御において、故意に相手の関節を極めた場合には、「反則負け」が与えられる。
 - ウ 故意に相手の足を踏みつけて技を仕掛ける及び故意に相手の頭髪を掴んで技を仕掛ける行為をした場合には「反則負け」が与えられる。
- ② 以下の場合については、「指導」の罰則が与えられる。
 - ア 関節技及び絞技を用いた場合には「指導」が与えられる。
 - イ 主審が「待て」をかけても、乱れた柔道衣を直そうとせず、放置し乱れたまま「始め」を待っている時に主審より柔道衣を直すよう指示された場合、これを1回目とカウントし、2回目以降はその都度「指導」が与えられる。
 - ウ 攻防に関係のない行為で、相手の柔道衣を乱す行為をした場合には「指導」が与えられる。
 - エ 標準的でない組み方の場合、直ちに攻撃しなければ、「指導」が与えられる。
 - オ 手と腕で輪を作ってベアハグを施した場合は「指導」が与えられる。
 - カ 攻撃をしようとしないうえに、防御姿勢など柔道精神に反する消極的な行為に対しては、厳しく「指導」が与えられる。
 - キ 立ち姿勢で相手の背部又は帯を握り続ける行為には、「指導」が与えられる。
 - ク 両膝を最初から畳について背負投等を施す行為には、「指導」が与えられる。
 - ケ 無理な巻き込み技を施す行為には、「指導」が与えられる。
 - コ 相手の頸を抱えて大外刈、払腰を施す行為には、「指導」が与えられる。
 - サ 変則の組手[クロスグリップ、片襟、帯を握る行為、ピストルグリップ、ポケットグリップ等]は、攻撃準備の動作がなければ「指導」が与えられる。
 - シ 内股上部より下に腕（肘）や手で脚を引っ掛けたり、脚を抱えたり、下履きを掴んだり、触れたりする行為には「指導」が与えられる。

ス 「逆背負投」(通称)の様な技を施した場合には「指導」が与えられる。

セ 両袖を持って技を施した場合には、「指導」が与えられる。

③ その他について

ア 寝技の攻撃・防御において、脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断したときは、「待て」とする。

イ 故意ではなかったが、絞技及び関節が極まった場合には、「待て」とする。

※悪質でない場合は、「待て」とする。

ウ GS時における「抑え込み」の場合、5秒(有効)で試合終了とする。

④ 6月7日(土)の審判講習会(監督会議)で審判規定・申し合せ事項等の審議・確認を行う。

(3) 試合方法

【団体戦(1日目)】

① 勝負は、勝数の同じ場合は内容により決定する(①「一本」・「反則勝ち」②「技あり」③「有効」④「僅差」)内容も同じ場合は「引き分け」とし、任意の選手による代表戦を一回のみ行う。

② チーム編成は、最も体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。(参加申込書に体重を記入する)

③ 選手の交代は、届出の補欠をもってあてる。この場合も順次体重順の編成とする。

④ 一度選手変更を行った者は以後の試合には出場できない。

【個人戦(2日目)】

① 階級別トーナメント方式とする。

② 体重が適合しない場合は失格とする。無理な減量は行わない。

③ 体重別階級は次のとおりとする。(大会当日、計量を実施する)

男子8階級

○ 50kg 級 (50kg 以下)

○ 55kg 級 (50kg 超～ 55kg 以下)

○ 60kg 級 (55kg 超～ 60kg 以下)

○ 66kg 級 (60kg 超～ 66kg 以下)

○ 73kg 級 (66kg 超～ 73kg 以下)

○ 81kg 級 (73kg 超～ 81kg 以下)

○ 90kg 級 (81kg 超～ 90kg 以下)

○ 90kg 超級 (90kg 超)

女子8階級

○ 40kg 級 (40kg 以下)

○ 44kg 級 (40kg 超～ 44kg 以下)

○ 48kg 級 (44kg 超～ 48kg 以下)

○ 52kg 級 (48kg 超～ 52kg 以下)

○ 57kg 級 (52kg 超～ 57kg 以下)

○ 63kg 級 (57kg 超～ 63kg 以下)

○ 70kg 級 (63kg 超～ 70kg 以下)

○ 70kg 超級 (70kg 超)

(4) 計量

団体戦 9:15～9:40、個人戦 8:30～9:10

5. 参加校の選出方法

自由参加とする。

6. 引率・監督・コーチ

(1) 本実施要項 P.1 の 8 に同じ。

(2) 審判員(白ワイシャツ、グレーズボン)に準じた服装をする。

(3) コーチは1チーム1名とし、他チームと兼ねることは不可。但し、同一チームで男女ともに出場している場合には、男女それぞれに1名置くことができる。

(4) 監督・コーチは、「試合場におけるコーチの振る舞いについて」の規定を厳守すること。

7. 申込方法・監督会議

(1) 要項巻末の柔道用申込書により5月16日(金)までに新宮宏紀(志段味中)宛に申し込む。

(2) 監督会議は6月7日(土)午前9:30より露橋スポーツセンター会議室で行う。

8. その他

(1) 現行の(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。ただし、2025年度までは移行期間とし、日本中体連柔道競技部からの通知に従う。

① 上衣・下穿きは、IJF ロゴ(赤)またはJU0000/JUB000の赤文字ラベルのもの

② 帯は、IJF ロゴ(赤/青)またはJU000の赤文字/黒文字ラベルのもの

③ 上衣・下穿きのメーカーは同一であること

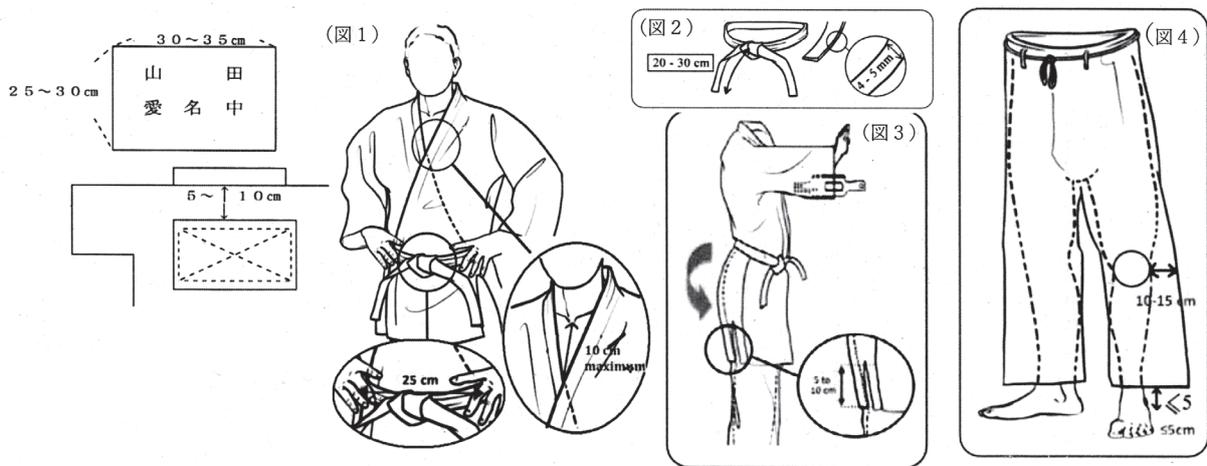
(2) ゼッケンの着用

柔道衣背部にゼッケン(チーム名・名字入り)を着用して試合する。

① 布地は白色(晒、太綾)

- ② サイズは 横 30～35 cm 縦 25～30 cm
 - ③ 名字(姓)は上側 2/3、チーム名は下側 1/3
 - ④ 書体は太字ゴシック体(明朝体・楷書体でもよい)
男子は黒色、女子は濃い赤色
 - ⑤ 縫い付けの場所は、後ろ襟から 5～10 cm 下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- (3) 柔道衣の大きさ ※下記の図参照

- ① 胸骨上部頂点から襟の交差部が 10 cm 以下、上衣を前で重ねた下襟の距離が 25 cm 以上(図 1)
- ② 帯の結び目から端が 20 cm～30 cm(図 2)
- ③ 袖の長さが腕を真っ直ぐに伸ばして掌で三角形を作った状態で、手首の骨を含めて腕全体が覆われる長さ
- ④ 上衣が前後同等の長さでお尻を完全に覆っていて、帯からの長さが階級の規程に合っている
(73 kg 以下の階級: 20 cm 以上 / 73 kg 以上の階級: 25 cm 以上)(図 3)
- ⑤ 下穿きの長さは、裾口からくるぶしの外側までの距離が 5 cm 以下、幅は膝の位置で 10 cm～15 cm(図 4)



(4) 女子選手の T シャツ

- ① 色は白(透けない)、半袖、丸首
- ② 製造業者のマークは最大 30 cm²で柔道衣着用時に見えないもの
- ③ 所属名称や所属エンブレムを左胸につけることは認められ、最大 100 cm²

(5) 地域スポーツクラブの参加について

- ① 「名古屋市中学校総合体育大会に関わる参加資格の特例」「名古屋市小中学校体育連盟 地域クラブ活動加盟規程」を遵守すること。
- ② 大会引率、監督、帯同コーチは全柔連公認指導者資格を有していなければならない。
- ③ 個人戦のみ参加できる。
- ④ 団体戦は、愛知県柔道連盟により推薦された男女各最大 4 チームが県大会から参加できる。
- ⑤ 柔道修業期間を 6 か月以上経過した中学生のみ大会に参加することができる。
- ⑥ 大会参加にあたり、参加資格特例条件に対して虚偽、違反、逸脱行為が発覚した場合、同一年度の地域クラブ活動の大会参加資格を取り消し、チーム及び該当所属選手ともに令和 7 年度内の参加を認めない。

(6) 第 79 回愛知県中学校総合体育大会の予選を兼ねる。

水泳競技大会実施要項

1. 期 日 令和7年7月21日(月・祝)
2. 会 場 日本ガイシアリーナ (50 m×10 レーン)
3. 参加資格 本実施要項 P. 1 の5に同じ
4. 競技種目及び参加人員

- (1) 競技種目 (○数字は競技順)

	21日(月・祝)
自 由 形	⑩50m・⑥200m・⑮100m・①400m
背 泳 ぎ	⑧50m・④200m・⑬100m
平 泳 ぎ	⑨50m・⑤200m・⑭100m
バ タ フ ラ イ	⑪50m・⑦200m・⑯100m
個 人 メ ド レ ー	③400m・⑫200m
フ リ ー リ レ ー	②4×100m
メ ド レ ー リ レ ー	⑰4×100m

- (2) 参加人員 (申し込む時に、下記の3点について確認して申し込むこと)

- ① 1人2種目以内 ただし、リレー・メドレーリレーをのぞく。
- ② リレー・メドレーリレーは、各団体1チームずつ、それぞれ6名まで申し込むことができる。
- ③ 200m以上の種目については、下記のタイム以上で泳ぐことができる者とする。

	男 子	女 子
自 由 形 200m	3:00	3:15
自 由 形 400m	5:30	6:00
背 泳 ぎ 200m	3:30	3:40
平 泳 ぎ 200m	3:45	4:00
バ タ フ ラ イ 200m	3:40	4:10
個 人 メ ド レ ー 200m	3:25	3:40
個 人 メ ド レ ー 400m	6:10	6:30

5. 競技の規定及び方法

- (1) (公財)日本水泳連盟競技規則による。
- (2) 競技は全種目ともタイムレースとする。
- (3) 自動審判計時装置(タッチ板)を使用する。
- (4) 組み合わせは、市小中体連水泳部で決定する。
- (5) 各種目男女別で3位までの入賞者には、賞状とメダルを授与する。
- (6) 男子1500m自由形・女子800m自由形以外の種目について、原則本大会の同種目に出場しなければ、県中学総合体育大会に参加することができない。また、県中学総合体育大会において男子1500m自由形・女子800m自由形に参加する場合には、令和6年4月1日以降の公式・公認大会で残した記録の証明を必要とする。
- (7) 50m平泳ぎ、50m背泳ぎ、50mバタフライの種目は県中学総合体育大会にはない種目。同種目に参加した者は県中学総合体育大会に2種目参加することができない。(男子1500m自由形・女子800m自由形に参加する選手はのぞく)

6. 引率・監督・コーチ 本実施要項 P. 1 の8に同じ

7. 申込方法

- (1) 日本水泳連盟公式ホームページ「競技者登録・エントリー・Web-SWMSYS」より申し込む。別送、申し込みマニュアルを熟読の上申し込み、公印を押印した書類を各区連絡員に送付する。
- (2) 申込締切 令和7年6月27日(金) 必着
- (3) 申し込みの際には、練習中を含めた本年度のベストタイムを必ず記入する。

- (4) 申込期日後の受付、変更はいかなる理由でも受け付けない。
- (5) 各区連絡員は、関係区内の申し込みを確認したうえで、組合わせ会に持参する。
(各区連絡員については、5月下旬に発送予定の実施事項をご確認ください)

8. 県大会出場標準記録

- (1) 第79回愛知県中学校総合体育大会の予選を兼ねるので、下記の標準記録を突破した者は県大会当該種目に申し込むことができる。

また、本大会で実施していない種目(男子1500m自由形、女子800m自由形)や、下記標準記録を突破できなかった場合(棄権・失格を除く)については、令和6年4月1日以降の公式・公認大会で下記標準記録を突破した記録の証明があれば、県大会に出場することができる。地域クラブ活動についても同様とする。

- (2) 標準記録(愛知県中学校総合体育大会出場のためのもの)

		男 子		女 子	
		50 mプール	25 mプール	50 mプール	25 mプール
自 由 形	50m	28.09	27.79	30.49	30.19
	100m	1:00.89	59.69	1:05.69	1:04.49
	200m	2:12.09	2:09.89	2:21.69	2:19.49
	400m	4:42.09	4:36.09	4:56.09	4:50.09
	800m	————	————	10:10.09	9:57.09
	1500m	17:40.09	17:19.09	————	————
背 泳 ぎ	100m	1:11.39	1:09.39	1:15.69	1:13.69
	200m	2:32.59	2:27.99	2:40.69	2:36.09
平 泳 ぎ	100m	1:15.19	1:13.79	1:22.69	1:21.49
	200m	2:42.29	2:37.39	2:55.89	2:50.99
バ タ フ ラ イ	100m	1:06.89	1:05.69	1:12.59	1:11.69
	200m	2:33.89	2:30.89	2:46.09	2:43.09
個 人 メ ド レ ー	200m	2:31.19	2:27.89	2:41.19	2:37.89
	400m	5:25.79	5:16.79	5:45.09	5:36.09
リ レ ー	400m	4:17.29	4:12.49	4:43.39	4:38.59
メ ド レ ー リ レ ー	400m	4:52.09	4:46.49	5:19.09	5:13.49

※その他不明な点があれば、各区の連絡員を通して水泳部長に問い合わせる。

※後日詳しい実施要項を各団体へ発送します。(5月下旬を予定)

ソフトテニス大会実施要項

1. 期 日 令和7年6月28日(土)、29日(日)、7月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)、21日(月・祝)、22日(火)

2. 会 場 パロマ瑞穂テニスコート

3. 競技種目及び参加人員

- (1) 競技種目 男女団体戦、男女個人戦
- (2) 参加人員 団体戦……1校男女各1チーム、監督1名、選手4名以上8名以内
個人戦……1校男女各4ペア以内

4. 引率・監督・コーチ 本実施要項P.1の8に同じ

5. 競技の規定及び方法

- (1) 競技規則は現行の(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」および大会要項による。
- (2) 団体戦の試合方法は1チーム3ペア(3ダブルス)による点取戦のトーナメント方式とする。
- (3) 団体戦においては、初戦のチームがあれば勝敗が決定しても3ペア目の試合まで行うことを原則とし、それ以降は勝敗が決定したら最後のペアの試合は行わない。オーダーは相手校がかわるごとに提出する。
- (4) 試合方法は男女別トーナメント方式とする。
- (5) マッチは5回ゲームとする。ただし、場合によっては7回とすることがある。
- (6) 試合球は男女団体戦がケンコーボール、男子個人がアカエムボール、女子個人がダンロップボールとする。
- (7) 監督または外部コーチ1名のベンチ入りを認める。

※外部コーチについては、外部コーチ確認書を提出し、認められた場合のみベンチ入りを認める。

- (8) 服装は、上は半袖スポーツシャツ、下は膝より上のパンツ・スカートを着用する。ただし、服装(用具を含めて)の色は華美にならないようにする。アンダーシャツやスパッツを着用する場合は、単色のものとする。学校指定の体操服は可とする。競技中、袖をまくらない。ハイソックスは認めない。くつはテニスシューズを使用する。腕等へのペイント・文字の書き込みは禁止する。運動帽を用いることが望ましい。

ベンチに入る監督または外部コーチも生徒に準ずる。

- (9) 右図のゼッケンを背中につける。(全国大会の形式に準ずる)
- (10) 団体戦の選手変更は原則として認めない。個人戦の選手変更は、けがや病気により、ペアのどちらか一人が出場できない場合は所属チームにおいて選手の補充を認める。二人とも出場できない場合は、棄権とする。オープン参加は認めない。

6. 参加校の選出方法 自由参加とする。

7. 申込方法

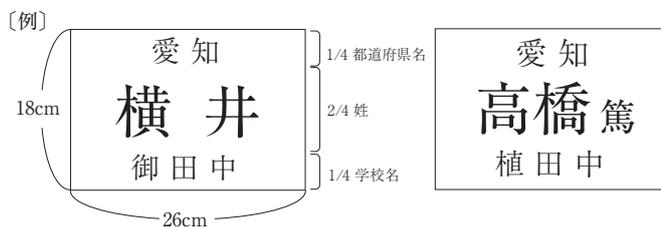
要項巻末のソフトテニス参加申込書により、団体戦・個人戦とも、6月11日(水)までに、ソフトテニス部長 横井孝(御田中)宛に申し込む。

8. その他

- (1) 第79回愛知県中学校総合体育大会の予選を兼ねる。

名古屋支部で団体は上位3校、個人は上位16ペアが県大会へ出場する。

- (2) 監督会議は6月13日(金)午後3時30分より御田中学校で行う。
- (3) 申し込み期限厳守。



※B5版横(18cm×26cm)で白地に黒文字(ローマ字は使用しない)。
 ※四隅をとめるものとする。
 ※同一校に同姓の選手がいる場合には、右図のように名前の一部も付け加える。
 ※バックプリントがある場合は、それを隠すようにつける。

バレーボール大会実施要項

1. 期 日 令和7年7月21日(月・祝)、22日(火)、23日(水) 午前9時00分～
2. 会 場 守山スポーツセンター他
3. 参加人員 1校男女各1チーム、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名
4. 競技の規定及び方法
 - (1) 審判規定は、第79回愛知県中学校総合体育大会競技上の規定および方法に準ずる。
 - (2) ネットの高さは男子230cm、女子215cmとする。
 - (3) 使用球は日本バレーボール協会公認4号(人工皮革・カラーボール)とする。
 - (4) 試合方法はトーナメント方式とする。(順位決定戦を行う)
 - (5) 出場するチームの規定人員以外はベンチおよびコート内に入ることを禁ずる。
 - (6) ユニフォームに背番、胸番とキャプテンマークを必ずつける。(胸、背番は、それぞれの中央につける。キャプテンマークは、胸番号の下につける)
 - ユニフォームのプレーヤー番号の色と明るさは、そのユニフォームの色と明るさに対して、対照的でなければならない。
 - $\left. \begin{array}{l} \text{胸番} \cdots \cdots \text{高さ } 10 \sim 15\text{cm} \\ \text{背番} \cdots \cdots \text{高さ } 15 \sim 20\text{cm} \end{array} \right\}$ 字幅最小限2cm
 - キャプテンマーク……幅2cm、長さ8cm
5. 参加校の選出方法
自由参加とする。
6. 申込方法
要項巻末の申込書により6月6日(金)までに横山知浩(藤森中)宛に申し込む。
7. その他
 - (1) 第79回愛知県中学校総合体育大会並びに市民スポーツ祭の予選を兼ねる。
 - (2) 監督会議は6月20日(金)午後3時30分より藤森中学校で行う。
 - (3) 参加人員、競技の規定等の詳細については、6月末に送付される大会案内を参考とする。
 - (4) 引率・監督・コーチについては、本実施要項P.1の8に同じとする。

バスケットボール大会実施要項

1. 期 日 令和7年7月12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)、21日(月・祝)、23日(水)、24日(木)
9時開場
2. 会 場 パロマ瑞穂アリーナ、千種スポーツセンター、東スポーツセンター、守山スポーツセンター、
北スポーツセンター
3. 参加人員 1校男女各1チーム、引率者1名、コーチ(監督)1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、
選手15名
4. 競技の規定及び方法
 - (1) 競技規則は現行の日本バスケットボール競技規則による。また、「マンツーマンディフェンスの基準規則」
に則って実施する。
競技時間は8分のピリオドを4回行う。インターバルは2分、ハーフタイムは5分とする。延長戦については、
2分間休憩後3分間、2分間休み、3分間のくり返しで勝敗の決定するまで行う。
各ピリオドともにランニングタイムとし、ファウル・交代・タイムアウトは時計を止める。第4ピリオドの
残り2分は正式時計とする。5回戦以降は正式時計とする。
 - (2) 試合方法は、トーナメント方式とする。
 - (3) 使用球は女子は6号の革ボール、男子は7号の革ボールとする。(両チームの合意があれば、12面体のボー
ルの使用を可とする)
 - (4) コートは新コートデザインを使用する。
 - (5) ユニホームは濃淡2色を用意する。(淡色は白色とする)
 - (6) 選手は胸と背に番号を明記する。番号は、4番から18番までの連番とする。
 - (7) 1～3回戦は相互審判を原則とする。
5. 参加校の選出方法
自由参加とする。
6. 申込方法
要項巻末の申込書により5月16日(金)までにバスケットボール部長・西本海(振甫中)宛申し込む。
申込書は、巻末⑧を男女別でコピーし30名まで記載する。(ゲームに出場する選手は15名とする。詳細は監
督会議の際確認する。)
7. その他
 - (1) 第78回愛知県中学校総合体育大会並びに市民スポーツ祭の予選を兼ねる。上位4校が県大会へ、上位8校
(県出場校を除く)が市民スポーツ祭へ出場をする。
 - (2) 監督会議は6月13日(金)午後3時30分より振甫中学校で行う。
 - (3) 引率・監督・コーチについて、バスケットボールでは、引率・コーチ(監督)・アシスタントコーチと読み替え、
本実施要項P.1の8に同じとする。
 - (4) 外部コーチのベンチ入りについては、上記(3)の手続きにより認める。
 - (5) マネージャーについては、教員または生徒とする。

サッカー大会実施要項

1. 期 日 令和7年6月28日(土)、7月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)、23日(水)、24日(木)
※予備日 7月21日(月・祝)、25日(木)
2. 会 場 パロマ瑞穂北陸上競技場、テラスポ鶴舞 他
3. 参加人員 1校1チーム、監督1名、引率教員1名、コーチ1名、選手18名(計21名)
4. 競技の規定及び方法
 - (1) 審判規定は2024/2025年の日本サッカー協会競技規則に準ずる。
 - (2) 試合方法はノックアウト方式とする。
 - (3) 使用球は手縫い5号(公認球)とし、各チーム持ち寄りで行う。
 - (4) 試合時間は30分-10分(休) - 30分とする。同点の場合は、PK方式(5名)で決する。
 - (5) ユニホームの番号は1~18番以内を原則とし、シャツの前面と背面につける。ショーツ番号はつけることが望ましい。サブユニホームも必ず持参すること。フィールドプレイヤー、ゴールキーパーともにシャツの黒色・紺色は認めない。
 - (6) ゴールキーパーは、他の選手と色別できるユニフォームを着用する。
 - (7) 選手交代は、7回以内で主審の許可により交代を認め、再交代も可能とする。脳震とうの受傷もしくは疑われる場合、その選手の交代は交代回数に含まれない(通常とは異なる交代用紙を使用して交代する)。脳震とうの受傷もしくは疑われる交代は一回に限るものとし、その交代方法で退いた選手の再交代は認めない。また、脳震とうの受傷もしくは疑われる交代が行われた場合、相手チームの交代回数を1名追加する。
 - (8) 同一試合、警告2回で退場とする。退場及び加算して2回の警告を受けた選手は、次の試合に出場できない。
5. 参加校の選出方法
自由参加とする。
6. 申込方法
 - ① 監督会議派遣依頼に添付される「出場参加申込QRコード」から参加・不参加を6月4日(水)までに回答する。(不参加でも回答する。)
 - ② ①にて「参加」と回答した学校は、要項巻末の申し込み書または、名古屋サッカー協会のホームページ(<http://www.nagoya-fa.jp/>)からダウンロードした申し込み書により6月4日(水)までにサッカー部長・野口暁弘(東陵中)宛に原本を送付する。
7. 監督・コーチ
 - (1) 参加生徒の監督は、当該校の教員を原則とする。ただし、第62回大会実施要項に従って校長が承認した場合は、その者に、監督を委任することができる。
 - (2) 監督のいない場合は、出場できない。
 - (3) ベンチ入りするコーチは、当該校の教員以外の者でもよい。ただし、校長の承認した者で、当該校において継続的に指導を行っている者とする。
 - (4) 当該校の教員以外の者をコーチとしてベンチ入りさせる場合は、コーチ確認書(校長承認書)を参加申込書に添付してサッカー部長へ提出する。(⑩の様式で)
8. その他
 - (1) 第79回愛知県中学校総合体育大会上位4校並びに市民スポーツ祭上位16校の予選を兼ねる。
 - (2) 監督会議は6月11日(水)午後3時30分より東陵中学校で行う。組合せ・連絡確認事項があるので必ず出席すること。
 - (3) 組み合わせは、会場校及び主審担当校をシードする。
 - (4) 準決勝で敗退した両チームを3位とするが、県大会出場順位(3位・4位)の決定戦を行う。
 - (5) 参加申込書は、大会当日のメンバー表となるので、各チームで必ずコピーをとり保管する。試合開始60分前までに、先発選手11名に○をつけ、1部を本部、1部を相手チームに渡す。
 - (6) 参加申込み後、登録選手・監督・コーチの変更が必要となった場合、監督会議で配布する変更届けに必要事項を記載し、試合前日までにサッカー部長へ1部(原本)を送付すること。

ハンドボール大会実施要項

1. 期 日 令和6年7月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)、21日(月・祝)
2. 会 場 7月5、6、12日：緑スポーツセンター、名古屋市体育館、露橋スポーツセンター
7月13、19、20、21日：緑スポーツセンター
3. 参加人員 1校男女各1チーム、選手15名
4. 引率・監督・コーチ 本実施要項P.1の8に同じ。
5. 競技の規定及び方法
 - (1) 審判規定は、2025年日本ハンドボール協会競技規則による。
 - (2) 試合方法はトーナメント方式とする。
 - (3) 試合時間は25分-10分(休憩)-25分とする。規定時間終了後に同点の場合は、1,2回戦は7mスローコンテストで勝敗を決める。準々決勝からは第1延長を行い、それでも勝敗が決まらなければ7mスローコンテストで勝敗を決める。決勝戦は、第1延長でも勝敗が決まらなければ第2延長を行い、それでも勝敗が決まらなければ、7mスローコンテストで勝敗を決める。
 - (4) 男子の使用球は2号ボール(公認球)とする。女子の使用球は1号ボール(公認球)とする。
 - (5) 選手は胸に校名マーク、胸・背番号をはっきりつけ、濃淡の2色のユニホームを用意する。
 - (6) ベンチ内で監督・選手は、メガホンを使用しない。
 - (7) 不測の事態に対しては、大会本部の判断による。
6. 参加校の選出方法
自由参加とする。
7. 申込方法
要項巻末の申込書により6月6日(金)までに、平針中 友清翔太宛に申し込む。
8. その他
 - (1) 第79回愛知県中学校総合体育大会の予選を兼ねる。男女各上位4校が県大会へ出場する。
 - (2) 監督会議は6月13日(金)午後3時30分より平針中学校で行う。
 - (3) 4.で定めた外部指導者以外の外部コーチは認めない。

卓球大会実施要項

1. 期 日 令和7年7月12日(土) 男子団体戦、13日(日) 女子団体戦、
19日(土) 男子個人戦、20日(日) 女子個人戦 午前9時00分～

2. 会 場 枇杷島スポーツセンター

3. 競技種目及び参加人員

(1) 競技種目 硬式 男女団体戦、男女個人戦

(2) 参加人員

① 団体戦…1校男女各1チーム。選手6～8名。

② 個人戦…1校男女各6名。

ただし、前年度ランキング者(24位までの入賞した下記の生徒)のいる学校は、ランキング者以外に更に6名まで参加しても良い。(他校からは不可)

令和6年度のランキング者(令和7年度の組合せでシードする)

男 子		女 子	
高 森(愛工大名電)	川 村(愛工大名電)	今 枝(振 甫)	大 澤(有 松)
浅 里(愛工大名電)	福 永(鎌 倉 台)	薩 田(名経大高蔵)	伊 藤(吉 根)
中 野(愛工大名電)	岩 田(北)	高 須(名経大高蔵)	
中 村(愛工大名電)	飯 田(守 山 東)	岡 本(名経大高蔵)	
山 崎(愛工大名電)	加 藤(藤 森)	加 藤(名経大高蔵)	
都 築(黄 金)		岡 本(吉 根)	
原 田(愛工大名電)		柴 田(藤 森)	

令和7年度 個人戦の人数枠

男 子	愛工大名電	高森、浅里、中野、中村、山崎、原田、川村+6名
	黄 金	都築+6名
	鎌 倉 台	福永+6名
	北	岩田+6名
	守 山 東	飯田+6名
	藤 森	加藤+6名
女 子	振 甫	今枝+6名
	名経大高蔵	薩田、高須、岡本、加藤+6名
	吉 根	岡本、伊藤+6名
	藤 森	柴田+6名
	有 松	大澤+6名

申込書には、上記の生徒を含め強い順に記入する。

4. 競技規定及び方法

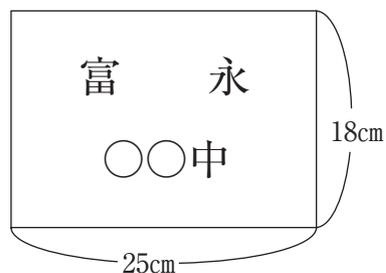
- (1) 審判規定は、現行の日本卓球ルールに準ずる。タイムアウト制は適用しない。
- (2) 競技方法は、トーナメント方式とする。
- (3) 団体戦及び個人戦の競技方法については、監督会議後に別途連絡をする。
- (4) 使用球は、日本卓球協会公認の硬球で 40mm ホワイトとする。
- (5) 服装は、日本卓球協会認定の半袖シャツ、ショーツ（スカート）を着用する。（白のユニフォーム不可）
認定のユニフォームでない場合は出場を認めない。なお、監督、コーチも白主体のウェアは不可
- (6) 背中央部に下図のような選手名及び校名を書いたゼッケンを必ずつける。

5. 参加校の選出方法

オープン参加とする。

6. 引率者・監督・コーチ

- (1) 引率者・監督・コーチは本実施要項 P. 1 の 8 に同じ。
- (2) アドバイザーは、当該校の校長、同校教員、部活動外部顧問、外部指導者（コーチ）のみ



7. 申込方法

要項巻末の申込書により、6月5(木)までに卓球部長守山東中学校 富永雄紀宛に申し込む。

8. その他

- (1) 団体戦の選手変更は、事前に届け出れば認める。個人戦の選手変更は認めない。
予選通過（男女共）
県大会 …… 団体4校、個人24名
- (2) 監督会議は、6月13日(金)午後3時30分より守山東中学校で行う。
- (3) 団体戦・個人戦ともに、組み合わせは、小中学校体育連盟卓球部で行うが、シードの決定については以下の通りとする。
 - 団体戦 前年度中学校総合体育大会、3月1日(土)に行われる名古屋市中学生団体卓球選手権大会の結果、6月1日(日)に行われる審判講習会の結果を参考とする。
 - 個人戦 前年度中学校総合体育大会、組み合わせの日までの戦績を参考にする。

バドミントン大会実施要項

1. 期 日 令和7年7月19日(土)、20日(日) 午前9時～

2. 会 場 中村スポーツセンター

3. 競技種目及び参加人員

(1) 競技種目 男子団体戦、女子団体戦、男子個人戦 単・複、女子個人戦 単・複

(2) 参加人員 団体戦 1校1チーム 監督1名 選手5～7名

個人戦 監督1名 単 1校4名以内・複 1校4組以内

※ 団体戦に出場した選手も個人戦に出場できる。ただし、単複を兼ねて出場することは団体戦・個人戦ともにできない。

4. 引率・監督・コーチ 本実施要項P.1の8に同じ(必ず確認すること)。

5. 競技の規定及び方法

(1) 現行の日本バドミントン協会競技規則および大会運営規定による。

(2) シャトルは日本バドミントン協会検定合格球(水鳥球)を使用する。

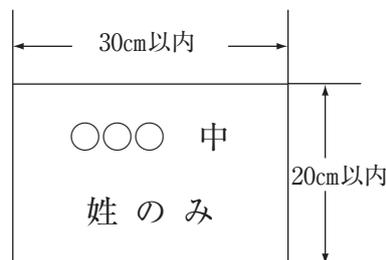
(3) 団体戦・個人戦ともトーナメント方式で行う。ただし、団体戦については参加校数によってリーグ戦に変更する場合もある。各種目とも3位(ベスト4)まで表彰する。

(4) 団体戦の初回戦は全試合行う。2回戦以降は、2試合で勝敗が決定した場合の3試合目は行わない。

(5) 団体戦のオーダーはその都度提出する。提出後のメンバー変更は認めない。初回戦は9時30分までに、以後は試合が終了後直ちに次の試合のオーダーを提出する。

(6) 競技時の服装は、日本バドミントン協会検定合格ウェアとする。

背中に右図のようなゼッケンを必ずつける。同姓の者がいる場合は、
名前の1文字目を小さく入れる。



6. 参加校の選出方法

自由参加とする。

7. 申込方法

要項巻末の参加申込書⑬3通(2通コピー可)により、5月28日(水)までにバドミントン運動部長 市川聡(高針台中)宛に申し込む。なお、個人戦については上からランク順に記入すること。

必要があれば、要項巻末の外部コーチ確認書⑯を添えて提出すること。

8. その他

(1) 第79回愛知県中学校総合体育大会の予選を兼ねる。団体戦は4位までが、個人戦は8位までが、県大会へ出場する。団体戦・個人戦とも県中総のために、準決勝の敗者同士でシード順位決定戦を行う。

(2) 監督会議は6月6日(金)午後3時30分より高針台中学校にて行う。

剣道大会実施要項

1. 期 日（団体戦） 令和7年7月21日(月・祝) 午前10時00分～
（個人戦） 令和7年7月22日(火) 午前10時00分～
2. 会 場（団体戦・個人戦） 露橋スポーツセンター
3. 参加人員（団体戦） 1校男女各1チーム、選手5名、補員2名以内
（個人戦） 1団体男女各4名以内（補員は認めない）
4. 監督・コーチ
本実施要項P.1の8に同じ
なお、監督・コーチの服装は、白色（無地）の半袖ワイシャツ、グレー（無地）のズボンまたはスカート、エンジのネクタイ、紺色（無地）の靴下を原則とする。
5. 競技上の規定および方法
 - (1) 試合および審判規則は、「全日本剣道連盟試合ならびに審判規則・細則」、「剣道試合・審判・運営要領の手引き」と「名古屋市小中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項」に準ずる。
 - (2) 団体戦は、3分3本勝負とし、勝敗の決しない時は引き分けとする。チームの勝敗は、勝者数・取得本数の多い順とする。なお同数の場合には、任意の代表者1名による代表者戦を行う。
個人戦は、3分3本勝負とし、勝敗の決しない時は延長戦を行う。
団体戦の代表者戦、個人戦での延長戦は下記のように2分ずつ区切って行う。
試合時間 3分⇒延長2分⇒延長2分⇒〔小休止（面を着けたまま深呼吸をする程度）〕
⇒延長2分⇒延長2分⇒〔休憩（面を外して給水）〕
※上記を繰り返す。
 - (3) 竹刀は、男女とも長さ114cm以内（約3.7尺）、重さ男子440g以上・女子400g以上（鐙、鐙止めは含まない）、先革の太さ男子25mm以上・女子24mm以上。先革の長さ男女とも5cm以上とする。また、ちくとうの最小直径値は、先端から8cmとする。カーボン竹刀の使用を認める。
 - (4) 試合時は、面マスクまたはシールドを着用する。
6. 申込方法・組み合わせ会
 - (1) 団体戦の申し込み選手が4名の場合は、次鋒を抜くこと。3名の場合は、次鋒と副将を抜くこと。
2名以下での参加は認めない。また、団体戦・個人戦とも申し込み後の選手およびオーダー順の変更は認めない。
 - (2) 要項巻末の剣道用参加申込書⑭により、5月19日(月)から6月11日(水)までに長良中・栗栖孝明宛申し込む。
 - (3) 組み合わせ会は、6月27日(金)、7月4日(金)ともに午後3時30分より長良中学校で行う。
 - (4) 組み合わせ表は、7月上旬頃にメールにて送信をします。
7. その他
 - (1) 第78回愛知県中学校総合体育大会剣道大会の予選を兼ね、団体戦は男女5校、個人戦は、上位男女各10名が、その出場権を得る。
 - (2) 県、東海、全国大会の予選を兼ねているので、勝ち上がった際は、参加できることを条件とする。
 - (3) 参加資格については、本実施要項P.1の5を満たしていること。
 - (4) 全国中学校体育大会大会要項、7 参加資格の(6)「全国中学校体育大会（夏季大会）の他競技に出場していない者とする」ということを確認すること。

名古屋市小中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項

平成 20 年 5 月 21 日施行 平成 26 年 11 月 14 日改訂 令和 3 年 3 月 1 日改訂
平成 23 年 11 月 16 日改訂 平成 29 年 2 月 24 日改訂 令和 5 年 5 月 8 日改訂
平成 25 年 6 月 28 日改訂 平成 30 年 8 月 1 日改訂 令和 6 年 5 月 17 日改訂

- 1 開始線の位置は、中心から 140 cm とする。
- 2 正面への礼は、第一試合の開始時と、決勝戦の開始時と終了時のみ行う。最初の礼は、「正面に礼」をした後、「相互に礼」をする。最後の礼は、「相互に礼」をした後、「正面に礼」をする。
- 3 団体戦・個人戦とも第一試合の開始は、全会場の選手が立会いの間合い（9 歩の間合い）に立った時、審判長が合図（笛や声）する。選手が蹲踞後、主審の「はじめ」の宣告後、立ち上がって試合を開始する。
- 4 団体戦では、大将戦は監督・選手ともに正座して観戦する。個人戦においての監督も同じとする。
- 5 有効打突は、「打突部」を中心とした竹刀の弦の反対側で刃筋正しく打突したものとする。
- 6 出場する学校は、紅白目印（幅約 5 cm × 全長 70 cm 以内）を用意する。
- 7 次の事項に違反した選手は、失格とし、相手選手に 2 本を与え、既得本数および既得権を認めない。
 - (1) 選手は剣道衣・袴を着用する。
 - (2) 不正の竹刀や用具を使用しない。
 - (3) 選手の交代は、審判主任に選手変更届を提出し、補員以外とは交代しない。（交代した選手の再出場は認めない）
 - (4) オーダー順の変更はしない。（オーダーと違う選手が試合を行った場合は、失格とする）
 - (5) 競技中、相手選手や審判員の人格をきずつけるような言動をしない。
- 8 中央前垂れに校名・姓名を明記した名札をつける。（校名は必ず〇〇中とする）同じチーム内に同姓者がいる場合は、苗字の右下に名前の 1 文字を入れる。名札にチョークでの記入や校名の縫い合わせ・貼り合わせがしてある場合は、原則として大会の参加を認めないものとする。
- 9 次の事項に違反した選手は、反則 1 回とする。
 - (1) 変形な構え等の防御姿勢
「変形な構えとは」左拳を概ね目線より上にして、面・右小手・右胴を防御する形をいう。
変形な構え等の防御姿勢をとった場合は、1 回目は「合議」の上、「指導」2 回目以降は「合議」の上、「反則」とする。（公正を害する行為）
 - (2) つば（鑢）競り合いについて
試合者は鑢競り合いあるいは相手と接近した場合は、積極的に技を出すか積極的に分かれる努力をしなければならない。試合者は、審判員の「分かれ」や「止め」の宣告を待つのではなく、試合者双方で分かれる努力をする。鑢競り合いの解消に至る時間は「一呼吸（目安としておよそ 3 秒）」とする。接触した瞬間の引き技、及び、体当たりからの技（発声を含む）は認める。
 - (3) 危険防止について
 - ① 体当たり後に打突の意志がない場合や、相手の打突後に相手の上体をすくい上げるようにして必要以上に押ししたり、激しくひっくり返して相手を倒したりした場合は、合議の上、危険行為として反則とする。
 - ② 突き技は禁止とする。故意に突っかかる突きは、合議の上、公正を害する行為として反則とする。
 - (4) 足袋・サポーターについて
 - ① サポーター（足袋・テーピングを含む）の使用は、あらかじめ、各試合場の審判主任に使用許可証を提出する。ただし、指先（足および手）の単独でのテーピングは、届け出不要とする。
 - ② サポーター等は、肘や膝等につけるものを足に使用しない。
 - ③ ゴムや革およびすべり止めを底に貼ったもの等の使用は禁止する。
- 10 次の事項に違反した選手は、注意・指導する。
 - (1) 剣道衣・袴に道場名、ワッペン、スポーツ少年団等の腕章が入っているものは使用しない。
 - (2) 面ひもは、試合中にとけないようにしっかり結び、さがりの長さを 40 cm 以内にそろえる。
 - (3) つばの色は、革色または白色とする。それ以外のものを使用している場合は、その場で取り替えさせる。
- 11 華美への配慮として、次の事項に違反したチームへ注意・指導する。
 - (1) 剣道衣・袴へ付ける校名や校章等の刺しゅうは、華美にならないようにする。また袴の裾の部分に、校名の貼り付けや刺しゅうをしない。
 - (2) 面乳革は大きさ、模様も含めて華美にならないように配慮し、色は黒色または紺色とする。
 - (3) 柄革は滑り止めや模様等のない無地のもので、白色とする。それ以外のものを使用している場合は、その場で取り替えさせる。
- 12 上段は原則として認めない。ただし、身体上の理由がある時は、協議の上認める。
- 13 応援は拍手で行い、声援はしない。
- 14 次の選手との余計な所作（胴つき、握手）、会場内での円陣を組んでの発声等は禁止する。
- 15 アイガード、ポリカーボネート面の使用を認める。
- 16 競技場に引率・監督・コーチ・選手・補員以外は、入場できない。また、競技場内へのストップウォッチ、時計機能付き電子機器（携帯電話・ビデオカメラ等）の持ち込みは、禁止する。
- 17 その他、必要と認められる事項については、競技役員が話し合いで決定する。



ラグビー大会実施要項

1. 期 日 令和7年4月27日(日)、29日(火・祝)、5月3日(土)、11日(日)、17日(土)
2. 会 場 パロマ瑞穂北陸上競技場 他
3. 参加人員 1校1チーム、監督1名、コーチ1名、選手22名
4. 引率・監督・コーチ 本実施要項P.1の8に同じ
5. 競技規則及び方法
 - (1) 本大会はジュニア・ラグビー（12人制）で行い、競技規則は現行の日本ラグビーフットボール協会競技規則による。
 - (2) 試合方法はトーナメント方式とする。
 - (3) 使用球は日本ラグビーフットボール協会公認球とする。
 - (4) 試合時間は 20分－ 5分 － 20分とする。
(前半) (ハーフタイム) (後半)
規定時間終了時に同点で、トライ数が同じ場合はゴール数、ゴール数も同じ場合は、抽選によって次回戦への出場資格を決定する。(決勝戦の場合は、両校優勝とし、3位決定戦の場合は、両校3位とする。)
 - (5) リザーブの登録は、10名以内とし、全員の交替を認める。
 - (6) 選手の再出場は認めない。ただし、レフリースが認めた場合はその限りではない。
 - (7) 選手は危険防止のため、ヘッドキャップを必ず装着する。また、マウスガードを必ず装着する。
なお、早すぎるタックル、遅すぎるタックル、または危険なタックルは絶対にしない。
 - (8) 選手は背に番号を必ずつける。
6. 参加校の選出方法
自由参加とする。
7. 申込方法
監督会議に、要項巻末の参加申込書を持参する。
8. その他
 - (1) 監督会議は4月12日（土）8時30分より滝ノ水中学校で行う。
 - (2) 組合せは、県新人大会（1～2月）のベスト8進出チームをシードする。
 - (3) 外部指導者のベンチ入りコーチについては、校長の承認した者で、参加申込書に添付する。(㊟の様式で)

参考資料 1（指導措置のみ掲載）

4 教教第 6 号
令和 4 年 4 月 8 日

名古屋市立学校（園）長 様

名古屋市教育委員会
教育長職務代理者

暴風、大雨等に対処する指導措置について

暴風、大雨等に備え、園児、児童又は生徒（以下、児童等という）の安全と校舎等の管理、保全を期すため、下記の事項に特に注意し、常時、教職員、児童等及び保護者に周知徹底を図ることは勿論、関係機関ともよく連絡の上、支障のないよう処置すること。

特に、児童等及び保護者への非常連絡の伝達方法を完備するとともに、事前の指導を十分にしておくこと。

なお、情勢によっては、教育長が通達を発することになるので、通達の正確と迅速を期すため、あらかじめ通達文を設定し、暴風、大雨等に備えることとしたので注意すること。

状況によっては連絡不能な場合も考えられるが、その際には各学校（園）において状況を判断の上、教育長通達第 1 号、第 2 号及び第 3 号は注意報・警報発表と同時に発せられたものとみなし、各学校（園）においては、それぞれの処置をとること。従って、教育委員会からは原則として教育長通達第 4 号を各学校（園）長あてに発することになる。

記

1 暴風、大雨等に対処する指導措置

「名古屋市」に暴風警報等が発表されている場合は、下記を基準として取り扱うこと。

なお、幼稚園長の代表、小・中・特別支援学校長の区代表、高等学校長の代表は、休業・授業開始時刻の変更等の処置状況を取りまとめの上、速やかに教職員課に報告すること。

区分	注 意 報	警 報		
		大雨警報、洪水警報 高潮警報、大雪警報	暴風警報、暴風雪警報	
登校（園）前	登 校 さ せ る	浸水、土砂崩れ、洪水等予想される危険が地域ごとに異なるので、中学校ブロック（中学校及び当該中学校へ自校の児童を入学させる小学校）の校長が互いに情報を交換し、校長の判断により、右の措置等をとる。	午前 6 時までに警報が解除されない時	午前中の授業を中止する。
			午前 6 時から午前 11 時までに警報が解除された時	午後の授業は行う。
			午前 11 時を過ぎても警報が解除されない時	当日の授業を中止する。
登校（園）後	教育長通達第 1 号 ※注意報発表と同時に、教育長通達第 1 号が発せられたものとみなす。	教育長通達第 2 号 ※警報発表と同時に、教育長通達第 2 号が発せられたものとみなす。	教育長通達第 3 号 ※警報発表と同時に、教育長通達第 3 号が発せられたものとみなす。	

※台風の接近に伴い、前日に休校（園）の措置を決定する必要がある場合には、上記、暴風警報等発表時の対応とは別に、教育委員会として全市立学校（園）の休校（園）を決定する。

教育委員会として、前日に休校（園）の措置を決定した場合には、速やかに各学校（園）に通知する。

各学校（園）においては、あらかじめ定めている方法で、児童生徒および保護者に周知する。

※特別警報が発表されたときは、3 教指 531 号「避難指示、緊急安全確保及び特別警報に対処する指導措置について」で対応する。

○教育長通達第1号

月 日 時 分 教 育 長
(1) 各学校（園）において、今後の気象情報に十分注意し、児童等の危険防止及び衛生に注意するとともに、校舎の管理保全等適切に処置をとること。
(2) 状況によっては、児童等を下校させることも考慮すること。
(3) 教育長通達第4号が発せられる場合も予想して、人員配置等警備態勢について配慮すること。

○教育長通達第2号

月 日 時 分 教 育 長
(1) 児童等を学校に待機させること。
(2) 待機させた後、下校させるにあたっては、次に掲げる方法により情報を得て判断すること。 ア 危険箇所近くの学区住民より情報を受ける。 イ 教職員により通学路の安全点検を行う。 ウ 中学校ブロック（中学校及び当該中学校へ自校の児童を入学させる小学校）の校長が互いに情報を交換する。 エ その他
(3) 下校に際しては、注意事項を十分に徹底させ、あらかじめ保護者に連絡しておいた方法で下校させること。
(4) 翌朝の登校については情勢を判断し、すべての児童等及び保護者に徹底するよう処置をすること。休業等の処置をした場合は、直ちに教職員課に報告すること。
(5) 校舎の警備を厳重にするとともに、消防署、警察署、土木事務所、学区役員、PTA 役員等との連絡を密にし警戒すること。
(6) 重要書類の保管に十分注意し、特に低い土地の学校（園）においては高所に保管する等適宜措置すること。

○教育長通達第3号

月 日 時 分 教 育 長
(1) 児童等を、通学路の安全確認の上、速やかに下校させること。ただし、気象状況等によっては、学校に待機させる措置をとる場合がある。
(2) 通学路の安全を確認するにあたっては、次に掲げる方法により、情報を得るなど万全を期すこと。 ア 危険箇所近くの学区住民より情報を受ける。 イ 教職員により通学路の安全点検を行う。 ウ 中学校ブロック（中学校及び当該中学校へ自校の児童を入学させる小学校）の校長が互いに情報を交換する。 エ その他
(3) 下校に際しては、注意事項を十分に徹底させ、状況によっては、保護者に引き渡すことを含め、集団下校等あらかじめ保護者に連絡しておいた方法で下校させること。
(4) 次に掲げる場合は待機させること。 ア 通学路の安全が確認できない場合 イ 気象状況により帰宅が困難な場合 ウ その他
(5) 翌朝の登校については情勢を判断し、すべての児童等及び保護者に徹底するよう処置をすること。休業等の処置をした場合は、直ちに教職員課に報告すること。
(6) 校舎の警備を厳重にするとともに、消防署、警察署、土木事務所、学区役員、PTA 役員等との連絡を密にし警戒すること。
(7) 重要書類の保管に十分注意し、特に低い土地の学校（園）においては高所に保管する等適宜措置すること。

名古屋市立学校（園）長 様

名古屋市教育委員会
教 育 長

避難指示、緊急安全確保及び特別警報に対処する指導措置について

避難指示、緊急安全確保及び特別警報に備え、園児、児童又は生徒（以下、児童等という）の安全と校舎等の管理、保全を期すため、下記の事項に特に注意し、常時、教職員、児童等及び保護者に周知徹底を図ることは勿論、関係機関ともよく連絡の上、支障のないよう処置すること。

特に、児童等及び保護者への非常連絡の伝達方法を完備するとともに、事前の指導を十分にしておくこと。

なお、情勢によっては、教育長が通達を発することになるので、通達の正確と迅速を期すため、あらかじめ通達文を設定し、避難指示、緊急安全確保及び特別警報に備えることとしたので注意すること。

状況によっては連絡不能な場合も考えられるが、その際には各学校（園）において状況を判断の上、教育長通達第5号は、避難指示、緊急安全確保及び特別警報と同時に発せられたものとみなし、各学校（園）においては、それぞれの処置をとること。従って、教育委員会からは原則として教育長通達第4号を各学校（園）長あてに発することになる。

記

中学校ブロック内に避難指示、緊急安全確保及び名古屋市に特別警報が発令された場合は、下記を基準として取り扱うこと。特別支援学校、高等学校については、全市の被害状況や生徒の居住地、交通機関の状況等により、判断すること。

区分	避難指示及び特別警報	
登校（園）前	午前6時までに避難指示、緊急安全確保及び特別警報が解除されない時	午前中の授業を中止する。
	午前6時から午前11時までに避難指示、緊急安全確保及び特別警報が解除された時	午後の授業は行う。
	午前11時を過ぎても、避難指示、緊急安全確保及び特別警報が解除されない時	当日の授業を中止する。
登校（園）後	教育長通達第5号 ※避難指示、緊急安全確保及び特別警報の発令と同時に、教育長通達第5号が発せられたものとみなす。	

○教育長通達第5号

月 日 時 分 教 育 長
(1) 児童等を学校に待機させること。 (2) 避難指示等発令中、保護者が児童等を引き取りに来た場合は、気象状況、地域の安全を十分に確認するとともに、保護者には、地域の状況等を伝えること。 (3) 地域の安全を確認するにあたっては、次に掲げる方法により、情報を得るなど万全を期すこと。 ア 危険箇所近くの学区住民より情報を受ける。 イ 教職員により安全点検を行う。 ウ 中学校ブロック（中学校及び当該中学校へ自校の児童を入学させる小学校）の校長が互いに情報を交換する。 エ 区役所や関係機関より情報を受ける。 オ その他 (4) 中学校ブロック内で避難指示等の発令状況が異なる場合であっても、中学校ブロック内は、同一の対応をとること。 (5) 翌朝の登校については情勢を判断し、すべての児童等及び保護者に徹底するよう処置をすること。休業等の処置をした場合は、直ちに教職員課に報告すること。 (6) 校舎の警備を厳重にするとともに、消防署、警察署、土木事務所、学区役員、PTA役員等との連絡を密にし警戒すること。 (7) 重要書類の保管に十分注意し、特に低い土地の学校（園）においては高所に保管する等適宜措置すること。

学校（園）長 様

学校保健課長
部活動振興室長

酷暑期における児童生徒および園児の健康管理について

日ごろは、本市学校保健、学校体育及び部活動等の推進に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。このことにつきまして、各学校（園）におかれましては、日ごろから格別のご留意をいただいているところですが、依然として学校の管理下における熱中症事故は発生しております。

つきましては、下記の点につきましてご配慮をいただき、熱中症事故等の防止のための適切な措置を講ずるようお願いします。
記

1 熱中症対策について

(1) 熱中症の予防策

- ① 体育的な活動や部活動等の指導においては特に留意するとともに、体を暑さに徐々に慣らす等、運動強度や時間に配慮した無理のない計画を立てる。（暑熱順化）
- ② こまめな水分・塩分補給をする。
- ③ 帽子を着用し、こまめな休憩をとる。
- ④ 冷たいタオルなどにより体を冷却する。
- ⑤ 体調や健康状況、また、体力・体格の個人差に十分配慮する。
- ⑥ 熱中症の救急措置として、経口補水液やスポーツドリンクを標準運営費及び部活動費の需用費で購入できる。

(2) 暑さ指数（WBGT）について

【参考】暑さ指数（WBGT）に応じた注意事項等（熱中症対処法シートより）

暑さ指数（WBGT）による基準域	注意すべき生活活動の目安*1	日常生活における注意事項*1	熱中症予防運動指針*2
危険 31以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
嚴重警戒 28以上 31未満		外出時は炎天下を避け室内では室温の上昇に注意する。	嚴重警戒（激しい運動は中止） 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
警戒 25以上 28未満	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休憩を取り入れる。	警戒（積極的に休憩） 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
注意 25未満	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	注意（積極的に水分補給） 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

*1 日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.3.1」（2021）

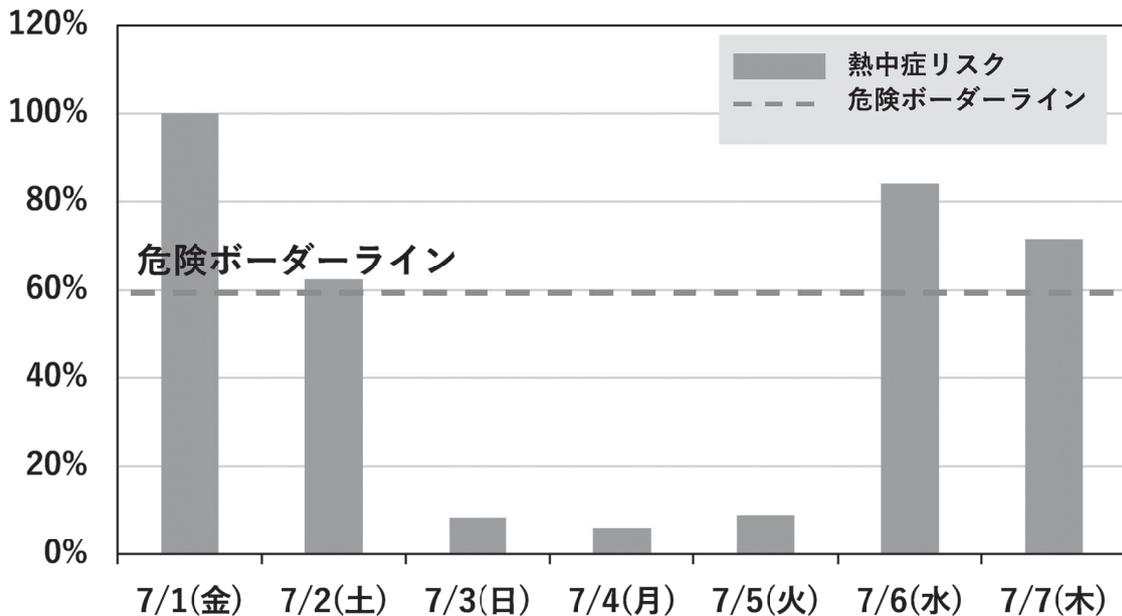
*2 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」（2019）

- ① 別紙「熱中症対処法シート」を目に付く場所に置くなどして活用する。
 - ② 暑さ指数（WBGT）は、体育的な活動や部活動以外でも、登下校、学校行事や校外学習、集会などについての中止や内容変更等の目安とする。
- (3) 熱中症リスク評価グラフの活用について（市消防局及び名古屋工業大学提供）
- ① 過去、名古屋市内で熱中症により救急搬送された少年（満7歳以上満18歳未満）の人数に対して、過去の救急搬送データ、天気予報より取得した暑さ指数（WBGT）及び気温等から熱中症リスク指標を算出したもので、1週間先までの長期予測が可能。

- ② 熱中症警戒アラートや本年度4月24日より発表されることになった熱中症特別警戒アラートの情報とともに体育的な活動や部活動、登下校、学校行事、校外学習、集会などについての実施の見通しの参考とする。(下図参照)

〈活用例〉

- 危険ボーダーラインを少し超える予測の7/2(土)に、体育的活動を計画している。
 - 開始時刻を早め、時間の短縮、水分補給の時間を図るなど、熱中症対策を図りながら実施する。
 - ※ 実際の活動中止や内容変更等の目安としては、当日の活動場所のWBGTを優先する。
 - ※ 前日に熱中症特別警戒アラートが発表されている場合は、WBGTの計測間隔を短くするなどして活動場所の暑さの状況を丁寧に把握し、実施等を判断すること。
- ③ 6月以降10月末までを目途に、毎週火曜日に熱中症リスク評価グラフを学校のlgメールのアドレス宛に学校保健課から配信する。



※ 予測グラフのイメージ図

(1日当たりの最大搬送者数の過去5年平均値である4人以上を100%として、その日のリスクを表示)

(4) 体制整備について

- ① 設定した指針に基づき、活動の中止や内容の変更等を誰が、どのタイミングで判断し、判断結果をどう伝達するか、体制を整備する。
- ② 熱中症事故等の発生時の救急・緊急連絡体制を再度確認し、必要に応じて関係諸機関等への連絡等、適切に対応する。

(5) 熱中症による救急搬送時の対応について

- ① 事故発生の日時、場所、原因、時間的経過と傷病者の容態の変化、事故発生時の活動場所のWBGTと熱中症警戒アラートの有無を克明に記録しておく。
- ② 学校保健課へ連絡する。

(6) 熱中症等についての情報は、以下のサイト等から積極的に把握に努める。

日本スポーツ振興センター (<http://www.jpnsport.go.jp/anzen/>)
 環境省 (<http://www.wbgt.env.go.jp/>) 気象庁 (<https://www.jma.go.jp>)

(7) 環境省「熱中症環境保健マニュアル2022(令和4年3月改訂)」

(https://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_pr.php#manual)、
 環境省・文部科学省「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」
 (http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/anzen/1401870_00001.htm) も参考にする。

2 落雷事故の防止について

校舎外での学校行事実施中など、学校管理下における落雷事故が発生している状況があることから、以下の点に留意し、落雷事故防止のため適切な措置を講ずる。

- (1) 指導者は、落雷の危険性を認識し、事前に天気予報を確認するとともに、天候の急変などの場合はためらうことなく計画の変更・中止等の適切な措置を講ずる。

- (2) 厚い黒雲が頭上に広がったら、雷雲の接近を意識する必要がある。雷鳴が聞こえるときは、落雷を受ける危険性があるため、すぐに安全な場所(校舎内等)に避難する。

～落雷の予兆～

- ◆ 急に厚い雲が広がり周囲が暗くなる。
- ◆ 突風や気温の低下、激しい雨
- ◆ 雷鳴
 - ・ 雷鳴はかすかでも危険信号
 - ・ 雷鳴が聞こえなくても突然落雷が発生する可能性がある。
 - ・ 雷鳴が聞こえなくなっても、20分くらいは落雷の危険がある。

〈落雷事故事例〉

■事例(1) 部活動中に…

野球の練習試合中に、降雨のため一時中断していたところ、雨が上がり雲が切れ、青空も見えてきたため試合を再開しようとしたとき、マウンドにいた生徒が突然落雷を受け、死亡。 (2014. 8 愛知県)

■事例(2) 体育祭中に

体育祭の午後からの応援合戦中に、グラウンド脇の森に落雷。仮設スタンド最前列に座っていた生徒8人が負傷。足から下半身にしびれが走った。うち一人が下肢切断、機能障害。 (2005. 9 福岡県)

あいちの学校安全マニュアル(2021年3月発行)より
(担当 保健体育担当 972 - 3246 I P 644 - 049)
(担当 部活動振興課 291 - 4675 I P 644 - 064)

熱中症対処法シート

1 暑さ指数 (WBGT) に応じた注意事項等

暑さ指数 (WBGT) による基準域	注意すべき生活活動の目安*1	日常生活における注意事項*1	熱中症予防運動指針*2
危険 31以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
厳重警戒 28以上 31未満		外出時は炎天下を避け室内では室温の上昇に注意する。	厳重警戒 (激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10 ~ 20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
警戒 25以上 28未満	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休憩を取り入れる。	警戒 (積極的に休憩) 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
注意 25未満	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	注意 (積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

*1 日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.3.1」(2021)

*2 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)

2 熱中症の症状と重症度分類

	症状	重症度	治療	臨床症状からの分類	
I 度 (軽症) (応急処置と見守り)	めまい、立ちくらみ、生あくび 大量の発汗 筋肉痛、筋肉の硬直(こむら返り) 意識障害を認めない(JCS=0)		通常は現場で対応可能 →冷所での安静、 体表冷却、経口的 に水分とNaの補給	熱けいれん 熱失神	軽症の症状が徐々に改善している場合のみ、現場の応急処置と見守りでOK
II 度 (中等症) (医療機関へ)	頭痛、嘔吐、 倦怠感、虚脱感、 集中力や判断力の低下 (JCS≤1)		医療機関での診察が必要→体温管理、 安静、十分な水分とNaの補給(経口摂取が困難なときには点滴にて)	熱疲労	中等症の症状が現れたり、軽症にすぐに改善が見られない場合、すぐ病院へ搬送(周囲の人が判断)
III 度 (重症) (入院加療)	下記の3つのうちいずれかを含む (C)中枢神経症状(意識障害 JCS≥2、小脳症状、痙攣発作) (H/K)肝・腎機能障害(入院経過観察、入院加療が必要な程度の肝または腎障害) (D)血液凝固異常(急性期DIC診断基準(日本救急医学会)にてDICと診断)⇒III度の中でも重症型		入院加療(場合により集中治療)が必要 →体温管理 (体表冷却に加え体内冷却、血管内冷却などを追加) 呼吸、循環管理 DIC治療	熱射病	重症かどうかは救急隊員や病院到着後の診察・検査により診断される

※ I度を軽症、II度を中等症、III度を重症として示しました。

3 熱中症を疑ったときには何をすべきか

① 涼しい環境への避難

- 風通しのよい日陰やクーラーが効いている室内等に避難させる。

② 脱衣と冷却

- 衣服をゆるめる。
- 皮膚を濡らして、うちわや扇風機等で扇ぐ。服や下着の上から少しずつ冷やした水をかける方法もある。
- 首の付け根の両脇、脇の下、足のつけねの前面・股関節部を氷のう等で冷やす。

③ 水分・塩分の補給

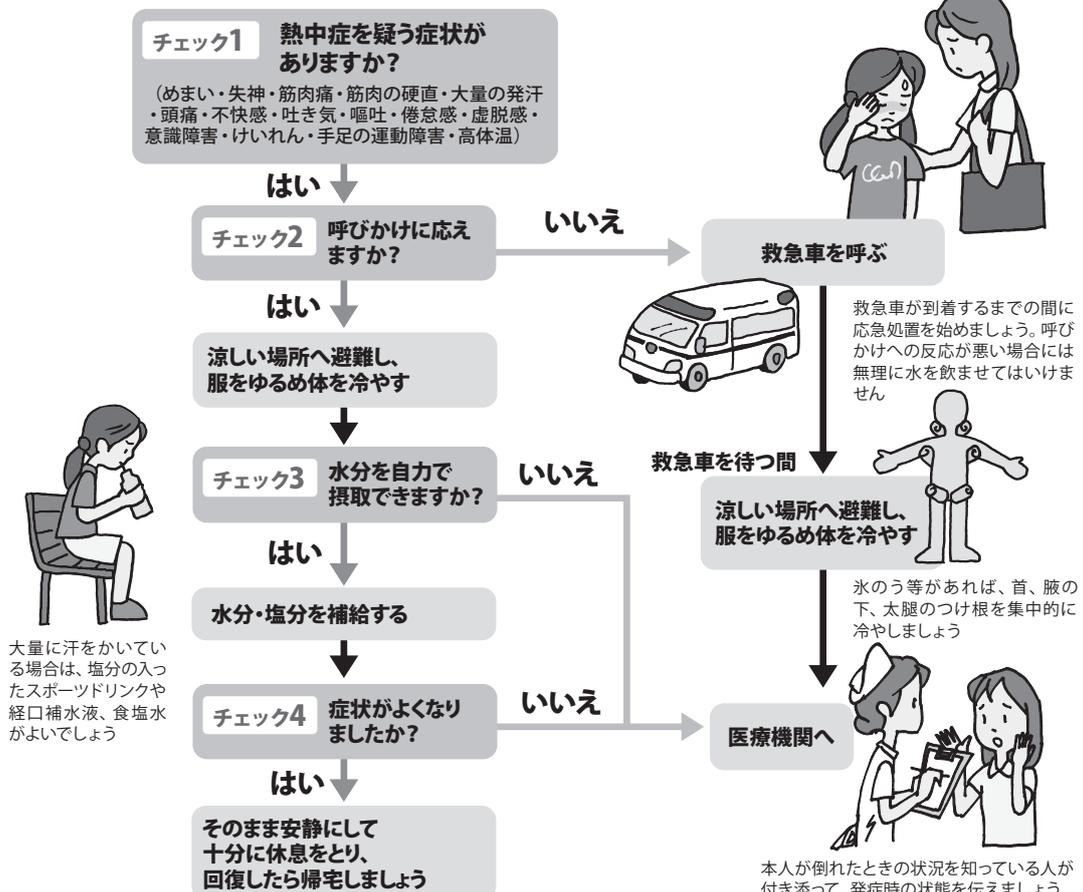
- 冷たい水を持たせて自分で飲んでもらう。経口補水液やスポーツドリンク等が最適。食塩水(水1ℓに1～2gの食塩)も有効である。
- 「呼びかけや刺激に対する反応がおかしい」「答えがない」「吐き気を訴える」ないし「吐く」という症状の場合は、口から水分を飲んでもらうのは禁物。

④ 医療機関へ運ぶ

- 自力で水分の摂取ができないときは、塩分を含めて点滴で補う必要があるので、緊急で医療機関に搬送することが最優先の対処方法。

熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。落ち着いて、状況を確認してから対処しましょう。最初の処置が肝心です。



名古屋市立学校（園）長 様

名古屋市教育委員会 指導室長

地震に対する安全対策と指導について（改訂）

地震・火災等非常災害の安全管理及び指導については、平素よりご配慮いただいているところでありますが、地震に対する安全対策について、なお一層の充実を期するため、下記事項の徹底について、各学校（園）では、具体的な策を立てて指導をお願いします。

記

1 学校（園）施設等における安全管理及び安全確保のための整備点検

学校においては、安全確保のため次の施設・設備・備品について万全の措置を講じておく。

(1) 屋内外の落下物及び転倒物

ア 天井の塗装物・外壁のひび割れ、浮き上がり等落下のおそれの有無を点検し、予防措置をしておく。

イ 窓枠（建具類を含む）、吊り下げ物件（例えば照明具・テレビ）、倒れるおそれのある物品（例えば戸棚）等の落下転倒のおそれの有無を点検し、予防措置をしておく。

(2) 避難階段・廊下及び非常口

ア 非常の場合、活用できるように常時点検し、整備しておく。

イ 階段、廊下及び非常口にある障害物を除去しておく。

(3) 防火シャッター・防火扉は常に開閉できるように整備しておく。

(4) 門・扉の安全性を確認し、対策を講じておく。

(5) ガス、電源等の安全点検及び理科実験用の危険薬品類の安全管理を徹底しておく。

(6) 火災併発に備え、警報、初期消火、避難等が円滑になされるよう整備点検しておく。

(7) 非常災害時のための備品、消耗品等が所定の場所に置かれているか点検しておく。

2 地震に備えての安全指導及び対策

計画を立てるにあたっては、本市における南海トラフ巨大地震の被害想定に鑑み、学区の地盤、地形、海岸、河川、工場地帯等の地理的条件を調査・把握しておくとともに、安全教育という立場から、「児童等」の実態に応じた指導を計画的に行えるように配慮しておく。

なお、名古屋市教育委員会発行の「地震防災マニュアル」を十分に参考にして計画を立てる。

(1) 現在作られている防災計画の中で、地震・津波発生を想定した避難計画（第1次・第2次避難場所・避難経路を含む）を作成する。

(2) 指導にあたっては、学校（園）で段階に応じて、「自助」「共助」「公助」の理念のもと、日常の教育活動の場で適切に行う。

(3) 避難訓練を計画的に実施し、安全避難の習慣や態度を養うように努める。

(4) 地震発生時の安全指導の内容（下記3-(1)参照）を教職員にも周知徹底しておく。

(5) 地域別の児童等の人数を把握しておく。

(6) 教職員及び児童等への連絡網並びに保護者への連絡方法を、通信機関途絶の場合も考慮し、整備しておく。連絡方法については、保護者へも周知徹底しておく。

(7) 地震・津波発生によって帰宅させる場合を想定して、あらかじめ保護者との間で安全な帰宅方法を取り決めておく。

(8) 区役所・警察署・消防署・病院及び学区等と連絡を密にし、非常の際の協力が得られるようにしておく。

- (9) 震度5強以上の地震が発生した場合、市立小・中・一部の高等学校及び一部の特別支援学校に自動的にグラウンドが避難場所として開放されるので、近隣協力員等に収容場所の開錠を依頼しておく。震度5強未満の地震で避難者が学校へ来た場合は、暴風・大雨等の場合に準じた措置をとる。
- (10) 校内に開設される避難所について、「避難所運営マニュアル」をもとに区役所、地域等と事前に十分打ち合わせを実施し、災害救助地区本部の場所及び地域防災無線の使用法、非常災害時用品の保管場所等についても周知しておく。

3 地震が発生した場合の措置

校（園）長を中心に、情報を集め、明確な指示・的確な措置をとる。

(1) 在校（園）時

児童等を安全に避難させ、掌握する。

- (例) ア 地震の揺れを感じたり、緊急地震速報を見聞きしたりしたら、あわてず、まず身の安全を守るようにさせる。
 - イ 口を閉じ、机などの下に身を隠して、指示を待たせ、あわてて外に飛び出さないようにさせる。
 - ウ 火を使用中の場合は、揺れが収まってから火の始末をさせる。状況によりガスの元栓を閉め、出入口の扉を開ける。
 - エ 地震の大きさによっては、周囲の状況を考慮した上、引率者の統制・指示により敏速に避難させる。特に津波被害のおそれのある学校においては、自校あるいは近隣の津波避難ビルに避難させる。
 - オ 避難したら、人数点呼を行い、人員を確認する。

(2) 登下校（園）中

あらかじめ、次のことについて指導しておく。

- (例) ア 塀・石垣・崖・電線など、地震の時の危険物に近寄らないとともに、落下物・倒壊物に注意しながら、安全な場所に避難する。
 - イ ガソリンスタンド・ガスタンク、自動車などは、引火爆発のおそれがあるので、近寄らない。
 - ウ 津波被害のおそれのある地域においては、近隣の津波避難ビルに避難する。
 - エ 集団登下校の場合は、特にリーダーが適切な行動をとるようにする。

4 地震発生後の措置

児童等・教職員の安否及び施設・設備の被害状況等を速やかに把握し、適切な措置をとり、「地震防災マニュアル」に基づいて、必要事項を名古屋市教育委員会に報告する。通信機関途絶の場合などは、可能な方法により報告に努める。

- (1) 授業継続の可否及び復旧対策を検討するなど、学校（園）運営の正常化に努める。
- (2) 被害状況に応じ、臨時休業・二部授業・給食中止などの措置をとらねばならない時は、教育委員会と連絡をとる。
- (3) 応急教育体制については、速やかに保護者及び児童等に周知徹底をはかる。
- (4) 気象台や災害対策本部からの情報を適切に児童等に伝え、不必要な不安をもたないようにさせる。
- (5) 衛生管理にも十分注意し、保健所の指導によって防疫に努める。

5 市域（名古屋市内）で震度5強以上の地震が発生した場合の措置

震度5強以上の地震発生時	幼児・児童・生徒	教職員
(1) 在校（園）中に発生した時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業をはじめとする教育活動を打ち切る。 ・ あらかじめ保護者との間で取り決めた方法で引き渡す。 ・ 翌日以後、学校（園）から連絡のあるまでの間、臨時休業日とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 変化する情報に絶えず留意するとともに、速やかに対処する。 ・ 自校（園）の状況を市教育委員会（学校整備課・指導室等）に報告する。
(2) 登下校（園）の途中に発生した時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登校（園）中の場合は、原則として、そのまま登校（園）させ、上記(1)に準じた措置をとる。 ・ 下校、降園中の場合は、原則として、そのまま下校、降園させ、下記(3)に準じた措置をとる。 	
(3) 在宅時に発生した時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校（園）から連絡があるまでの間、臨時休業日とする。 	
(4) 野外教育センター利用の時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出発前に発生した場合は、学校や出発をやめて、上記(1)の措置をとる。 ・ 出発後に発生した場合は、できるだけ確かな情報を集め、適切な措置を講ずる。 ・ 利用中に発生した場合は、そのままセンター内にとどまり、所長の指示に従う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引率責任者は、自校のとした措置を学校及び関係機関へ連絡する。 学校は、内容によっては保護者にも連絡する。
(5) 修学旅行・その他の校外学習の時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出発前、解散後に発生した場合は、状況に応じて、上記(1)～(3)の措置を講ずる。 ・ 出発後に発生した場合は、直ちに情報を集めて対処する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引率責任者は、自校のとした措置を学校及び関係機関へ連絡する。 学校は、内容によっては保護者にも連絡する。 市教育委員会に報告する。

6 南海トラフ地震に関連する情報が発表された場合の指導と措置

校（園）長を中心に、情報を集め、明確な指示・的確な措置をとる。

(1) 在校（園）時

児童等に情報を伝え、状況によっては安全に避難させ、掌握する。

(例) ア 情報が発表されたことを、すみやかに児童等に伝える。その際、情報を適切に伝え、不必要な不安をもたないようにさせる。

イ 情報が発表されたことを、保護者に伝える。

ウ 既に南海トラフの一部で地震が発生し、すぐに被害の発生が想定される等、状況によっては、児童等を安全な場所に避難させ、保護者に状況を伝える。

エ 状況によっては、児童等を保護者に引き渡す等により、帰宅させる。

(2) 登下校（園）中

あらかじめ、次のことについて指導しておく。

(例) ア 登校中の場合は、原則として、そのまま登校する。登校したら、在校時の指導に準ずる。

イ 下校中の場合は、原則として、そのまま下校する。下校後は、在宅時の指導に準ずる。

(3) 在宅時

あらかじめ、次のことについて指導しておく。

(例) ア 情報が発表されたことを知った場合は、避難場所・避難経路の確認、家族との安否確認手段の取り決め等、日ごろからの地震への備えの再確認をする。

イ 特に学校から連絡がない限り、授業が行われるので、通常通り、登校する。

(4) 野外教育・修学旅行・その他の校外学習については、予定通り実施する。すぐに被害の発生が想定される等、状況によっては、予定を変更する。

備考

市教育委員会への報告書及び報告先は、次の様式集による。

「地震防災マニュアル」の様式集を参照。

令和6年12月6日

名古屋市立学校長 様

名古屋市教育委員会

南海トラフ地震臨時情報発出時の対応について

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意、巨大地震警戒）が発出された場合、児童生徒の安全を確保するため、各学校では下表のように対応をとるものとします。

教職員及び保護者への周知をお願いいたします。

区分	巨大地震注意		巨大地震警戒	
	右記以外	事前避難対象地域含む 21学区 (小中高35校)※1	右記以外	事前避難対象地域含む 21学区 (小中高35校)※1
学校での教育活動 (長期休業中含む)	通常	通常	通常	休校※2
修学旅行	通常	通常	中止	中止
野外教育活動	通常	通常	中止	中止
校外学習(遠足含む)	通常	通常	中止	中止
部活動	通常	通常	中止	中止
学校開放 (地域SC含む)※3	通常	通常	通常	中止
トワイライト スクール・ルーム	通常	通常	通常	中止 (21小学校)

※1 事前避難対象地域含む21学区(小中高35校)

千年小、正色小、戸田小、豊治小、五反田小、春田小、西前田小、東築地小、
港西小、高木小、南陽小、当知小、神宮寺小、西福田小、福田小、豊田小、
白水小、柴田小、道徳小、千鳥小、大高小(小学校21校)

宮中、一色中、富田中、助光中、供米田中、東港中、南陽中、宝神中、当知中、
南陽東中、大江中、名南中、大高中(中学校13校)

富田高(高等学校1校)

※2 休校：期間は1週間程度を予定しています。

※3 地域SC：地域スポーツセンター

〈保護者への周知〉

教育委員会(高等学校は各学校)から添付資料(保護者通知文)を12/10(火)になごやっ子あんしんメールで一斉送信します。

なお、メール登録のない保護者には、添付資料を印刷して確実に配付をお願いいたします。

第62回 名古屋市中学校総合体育大会 軟式野球大会 参加申込書

種目 **軟式野球**

() 区 () 中学校 監督氏名 ()
 学校 Tel ()
 携帯or自宅 Tel ()

位 置	背番号	選 手 氏 名	学 年	性 別	個人情報の掲載について
投 手	1				
捕 手	2				
一 塁 手	3				
二 塁 手	4				
三 塁 手	5				
遊 撃 手	6				
左 翼 手	7				
中 堅 手	8				
右 翼 手	9				
補 欠	10				
〃	11				
〃	12				
〃	13				
〃	14				
〃	15				
〃	16				
〃	17				
〃	18				
〃	19				
〃	20				

◎上記の選手は、学校における健康診断の結果異常がなかったので、参加を申し込みます。また、プログラム、大会結果、及び名古屋市ホームページにおける個人情報（氏名・学校名・学年・記録）の掲載について本人及び保護者に同意を得ています。（掲載の同意が得られない選手は、個人情報欄に「否」が記入してあります。）

◎背番号はポジション順を原則とする。

◎主将は背番号欄に○をつける。

令和 年 月 日

名古屋市小中学校体育連盟会長 様

学 校 名

校長氏名

第 62 回 名古屋市中学校総合体育大会参加申込書

種目 **新体操**

() 区

所属名 ()

電話番号 ()

監督氏名 ()

FAX 番号 ()

緊急連絡先 ()

〈男子団体〉

No.	氏名	よみがな	学年	個人情報の掲載について
1				
2				
3				
4				
5				
補				
補				
補				

〈女子団体〉

No.	氏名	よみがな	学年	個人情報の掲載について
1				
2				
3				
4				
5				
補				
補				
補				

〈男子個人〉

No.	氏名	よみがな	学年	個人情報の掲載について
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				

〈女子個人〉

No.	氏名	よみがな	学年	個人情報の掲載について
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				

※ 1 補欠と個人を兼ねる場合は両方の欄に書く。

※ 2 推せんする 役員 () ・ 審判員 () < 男 : 女 : >

◎上記の選手は、学校における健康診断の結果異常がなかったので、参加を申し込みます。また、プログラム、大会結果、及び名古屋ホームページにおける個人情報（氏名・学校名・学年・記録）の掲載について本人及び保護者に同意を得ています。（掲載の同意が得られない選手は、個人情報欄に「否」が記入してあります。）

令和 年 月 日

名古屋市小中学校体育連盟会長 様

所属名

所属長氏名

第 62 回 名古屋市中学校総合体育大会参加申込書

男子の部

種目 **柔 道**

所属名 () 区 () 所属 Tel ()

	氏 名	○で囲む	連絡先 (自宅または携帯)	資格・ライセンス
引 率・ 監 督		教員・外部指導者 (コーチ)・ その他 ()		指導者資格 (A・B・C)
コーチ (希望校)		教員・その他 ()		指導者資格 (A・B・C)
審 判 員		教員・その他 ()		ライセンス (A・B・C)

※ コーチの希望があれば、「外部指導者 (コーチ) 確認書 (校長承認書)」を提出する。

※ 1名以上の審判員を記入する。(ライセンス必須)

※ 審判ライセンスがない場合は、当日運営の協力をさせていただきます。

① 団 体 戦

順 序	選手氏名	体重 kg	学年	個人情報の掲載 について	順 序	選手氏名	体重 kg	学年	個人情報の掲載 について
先 峰					大 将				
次 峰					補 欠				
中 堅					補 欠				
副 将									

② 個 人 戦

順 序	選 手 氏 名	ふりがな	体 重 kg	学 年	個人情報の掲載 について
50 kg 級					
55 kg 級					
60 kg 級					
66 kg 級					
73 kg 級					
81 kg 級					
90 kg 級					
90 kg 超 級					

◎上記の選手は、学校における健康診断の結果異常がなかったので、参加を申し込みます。また、プログラム、大会結果、及び名古屋市ホームページにおける個人情報 (氏名・学校名・学年・記録) の掲載について本人及び保護者に同意を得ています。(掲載の同意が得られない選手は、個人情報欄に「否」が記入してあります。)

令和 年 月 日

名古屋市小中学校体育連盟会長 様

所 属 名

所属長氏名

第 62 回 名古屋市中学校総合体育大会参加申込書

女子の部

種目 **柔 道**

所属名 () 区 () 所属 Tel ()

	氏 名	○で囲む	連絡先 (自宅または携帯)	資格・ライセンス
引 率・ 監 督		教員・外部指導者 (コーチ) その他 ()		指導者資格 (A・B・C)
コーチ (希望校)		教員・その他 ()		指導者資格 (A・B・C)
審 判 員		教員・その他 ()		ライセンス (A・B・C)

※ コーチの希望があれば、「外部指導者 (コーチ) 確認書 (校長承認書)」を提出する。

※ 1名以上の審判員を記入する。(ライセンス必須)

※ 審判ライセンスがない場合は、当日運営の協力をさせていただきます。

① 団 体 戦

順 序	選 手 氏 名	体 重 kg	学 年	個人情報の掲載について
先 峰				
中 堅				
大 将				
補 欠				

② 個 人 戦

順 序	選 手 氏 名	ふりがな	体 重kg	学 年	個人情報の掲載について
40 kg 級					
44 kg 級					
48 kg 級					
52 kg 級					
57 kg 級					
63 kg 級					
70 kg 級					
70 kg 超 級					

◎上記の選手は、学校における健康診断の結果異常がなかったため、参加を申し込みます。また、プログラム、大会結果、及び名古屋市ホームページにおける個人情報 (氏名・学校名・学年・記録) の掲載について本人及び保護者に同意を得ています。(掲載の同意が得られない選手は、個人情報欄に「否」が記入してあります。)

令和 年 月 日

名古屋市小中学校体育連盟会長 様

所 属 名

所属長氏名

第62回 名古屋市中学校総合体育大会参加申込書

種目 ソフトテニス 男子の部

() 区 () 中学校
 学 校 T e l ()
 監 督 氏 名 ()
 監督緊急連絡先T e l ()

種目 ソフトテニス 女子の部

() 区 () 中学校
 学 校 T e l ()
 監 督 氏 名 ()
 監督緊急連絡先T e l ()

団 体 戦

男 子 の 部		
選 手 氏 名	学 年	個人情報の 掲載について

団 体 戦

女 子 の 部		
選 手 氏 名	学 年	個人情報の 掲載について

個 人 戦

男 子 の 部		
選 手 氏 名	学 年	個人情報の 掲載について
①	A	
	B	
②	A	
	B	
③	A	
	B	
④	A	
	B	

個 人 戦

女 子 の 部		
選 手 氏 名	学 年	個人情報の 掲載について
①	A	
	B	
②	A	
	B	
③	A	
	B	
④	A	
	B	

◎上記の選手は、学校における健康診断の結果異常がなかったもので、参加を申し込みます。また、プログラム、大会結果、及び名古屋市ホームページにおける個人情報（氏名・学校名・学年・記録）の掲載について本人及び保護者に同意を得ています。（掲載の同意が得られない選手は、個人情報欄に「否」が記入してあります。）

令和 年 月 日

名古屋市小中学校体育連盟会長 様

学 校 名

校 長 氏 名

第62回 名古屋市中学校総合体育大会参加申込書

種目 バレーボール

() 区 () 中学校 学 校 Tel ()

男子の部

女子の部

監督氏名 () 監督氏名 ()

監督緊急連絡先Tel () 監督緊急連絡先Tel ()

No.	選手氏名	学年	個人情報の掲載 について	No.	選手氏名	学年	個人情報の掲載 について
1				1			
2				2			
3				3			
4				4			
5				5			
6				6			
7				7			
8				8			
9				9			
10				10			
11				11			
12				12			

(キャプテンのNo.に○印をつける)

◎上記の選手は、学校における健康診断の結果異常がなかったもので、参加を申し込みます。また、プログラム、大会結果、及び名古屋市ホームページにおける個人情報（氏名・学校名・学年・記録）の掲載について本人及び保護者に同意を得ています。（掲載の同意が得られない選手は、個人情報欄に「否」が記入してあります。）

令和 年 月 日

名古屋市小中学校体育連盟会長 様

学 校 名

校長氏名

第62回 名古屋市中学校総合体育大会参加申込書

種目 **ハンドボール**

() 区 () 中学校 学 校 T e l ()

男子の部

女子の部

監督氏名 ()	監督氏名 ()
役員氏名 ()	役員氏名 ()
()	()
()	()

No.	男子氏名	学年	個人情報の掲載 について	No.	女子氏名	学年	個人情報の掲載 について
1				1			
2				2			
3				3			
4				4			
5				5			
6				6			
7				7			
8				8			
9				9			
10				10			
11				11			
12				12			
13				13			
14				14			
15				15			

◎上記の選手は、学校における健康診断の結果異常がなかったもので、参加を申し込みます。また、プログラム、大会結果、及び名古屋市ホームページにおける個人情報（氏名・学校名・学年・記録）の掲載について本人及び保護者に同意を得ています。（掲載の同意が得られない選手は、個人情報欄に「否」が記入してあります。）

令和 年 月 日

名古屋市小中学校体育連盟会長 様

学 校 名

校 長 氏 名

第 62 回 名古屋市中学校総合体育大会参加申込書

種目 **卓球 団体の部** (男子・女子)

区		学校名	中学校	学校 TEL	電 話 () FAX ()	- -
ふりがな				監督 TEL	電 話 () 携 帯 ()	- -

選手	ふりがな 氏 名	学 年	個人情報の 記載について	アドバイザー	ふりがな 氏 名
1				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
2				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
3				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
4				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
5				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
6				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
7				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
8				校長・教員 外部顧問 外部指導者	

- (注) ・アドバイザーは参加選手数の範囲内で登録できる。
 ・監督、登録選手がアドバイザーに入る場合には登録の必要はない。
 ・アドバイザーの欄は、あてはまるものを選び、○を付ける。
 ・外部指導者は、大会参加申し込みと同時に外部コーチ確認書も提出する。

◎上記の選手は、学校における健康診断の結果異常がなかったもので、参加を申し込みます。また、プログラム、大会結果、及び名古屋市ホームページにおける個人情報(氏名・学校名・学年・記録)の掲載について本人及び保護者に同意を得ています。(掲載の同意が得られない選手は、個人情報欄に「否」が記入してあります。)

令和 年 月 日
 名古屋市小中学校体育連盟会長 様

学 校 名
 校長氏名

第 62 回 名古屋市中学校総合体育大会参加申込書

種目 卓球 個人の部 (男子・女子)

区		学校名	中学校	学校 TEL	電 話 () - FAX () -
ふりがな				監督	連絡先 () -
監 督				TEL	携 帯 () -

選手	ふりがな 氏 名	学 年	個人情報の 記載について	アドバイザー	ふりがな 氏 名
1				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
2				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
3				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
4				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
5				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
6				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
7				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
8				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
9				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
10				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
11				校長・教員 外部顧問 外部指導者	
12				校長・教員 外部顧問 外部指導者	

- (注)・ランキング者+1校6名まで。(強い順に記入すること)
- ・アドバイザーは参加選手数の範囲内で登録できる (どの選手のベンチにも入れる)。
 - ・監督、登録選手がアドバイザーに入る場合には登録の必要はない。
 - ・アドバイザーの欄は、あてはまるものを選び、○を付ける。
 - ・外部指導者は、大会参加申し込みと同時に外部コーチ確認書も提出する。

◎上記の選手は、学校における健康診断の結果異常がなかったため、参加を申し込みます。また、プログラム、大会結果、及び名古屋市ホームページにおける個人情報(氏名・学校名・学年・記録)の掲載について本人及び保護者に同意を得ています。(掲載の同意が得られない選手は、個人情報欄に「否」が記入してあります。)

令和 年 月 日
名古屋市小中学校体育連盟会長 様

学 校 名
校長氏名

第62回 名古屋市中学校総合体育大会参加申込書

種目 **バドミントン** (男・女)

() 区 () 中学校

監督氏名 ()

学校 Tel ()

緊急連絡先 Tel ()
(申込内容不備や大会関係の緊急時のみ使用。土・日につながる連絡先。)

種別	位置	選手氏名	ふりがな	学年	個人情報の掲載 について
団 体 戦	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
個 人 戦	D 1				
	D 2				
	D 3				
	D 4				
	S 1				
	S 2				
	S 3				
	S 4				

◎上記の選手は、学校における健康診断の結果異常がなかったので、参加を申し込みます。また、プログラム、大会結果、及び名古屋市ホームページにおける個人情報（氏名・学校名・学年・記録）の掲載について本人及び保護者に同意を得ています。（掲載の同意が得られない選手は、個人情報欄に「否」が記入してあります。）

令和 年 月 日

名古屋市小中学校体育連盟会長 様

学校名

校長氏名

第62回 名古屋市中学校総合体育大会参加申込書

種目 **剣 道** () 子の部 ※ () 内には男か女かを記入する。

指 導 区 分	氏 名	審 判	段 ・ 級
監 督			
コーチ (希望校のみ)		備 考	
学校アドレス			

※ 審判ができる場合は、審判欄に○印を記入、段・級欄は、さしつかえなければ記入する。それ以外は空欄とする。

※ コーチの希望があればコーチ欄に記入し、備考欄に外部顧問か外部指導者かを記入する。外部指導者については、申込書と併せて外部コーチ確認書を提出する。

※ 組み合わせ表をメールで送信しますので、学校アドレスの記入をお願いします。

《団体戦》 () 中学校

	姓	名	ふりがな	学年	段・級	個人情報の掲載について
監督				/		
先鋒						
次鋒						
中堅						
副将						
大将						
補員						
補員						

《個人戦》 () 中学校

	姓	名	ふりがな	学年	段・級	個人情報の掲載について	所属道場名
監督				/			
1							
2							
3							
4							

※ 個人戦に参加する選手の中で、道場等に所属している者がいる場合は、所属道場名を記入する。

◎上記の選手は、学校における健康診断の結果異常がなかったので、参加を申し込みます。また、プログラム、大会結果、及び名古屋市ホームページにおける個人情報(氏名・学校名・学年・記録)の掲載について本人及び保護者に同意を得ています。(掲載の同意が得られない選手は、個人情報欄に「否」が記入してあります。)

令和 年 月 日

名古屋市小中学校体育連盟会長 様

学 校 名

校 長 氏 名

外部指導者(コーチ)確認書様式

令和 年 月 日

名古屋市小中学校体育連盟 会長 殿

中学校

校長氏名(自署)

学校住所

学校電話

学校FAX

外部指導者(コーチ)確認書〈校長承認書〉

下記の者を、本校が第 回名古屋市中学校総合体育大会出場に際し、外部指導者(コーチ)として承認いたしました。

競技名	男子の部・女子の部		
名前			
性別	男性・女性	年齢	歳
学校との関わり	該当項目に○をつける <input type="checkbox"/> 1. 名古屋市部活動外部指導者派遣事業による外部指導者 <input type="checkbox"/> 2. その他 []		
次のことを確認した上で、上記の外部指導者(コーチ)を引率・監督として承認しますか。 ※引率に必要な保険に加入していること ※複数校の引率・監督ができないことを本人が確認していること (水泳飛び込み、卓球は除く) ※引率に関わる外部指導者(コーチ)の費用は原則として自己の負担であること		(どちらかに○) 承認する ・ 承認しない	

※参加申込書に2部添付すること(1部は事務局用、1部は運動部用)

名古屋市中学校総合体育大会に関わる複数校合同チーム参加規程

名古屋市小中学校体育連盟

1 合同チームとしての活動条件

複数校合同チームは、日常において計画的に学校の部活動として活動していることが大会参加の前提条件となる。複数校合同チームの監督は、いずれかの学校の校長・教員・外部顧問とする。

複数校合同チームとして大会へ参加する場合は、参加申し込み締め切り日の1週間前までに、複数校合同チーム申請書を事務局へ提出する。

2 複数校合同チーム編成の条件

(1) 種目と人数の範囲

複数校合同チームの編成は、個人の部を持たない団体競技種目に限定する。また、大会出場最低人数は以下の人数とし、これを下回った場合のみ合同チームを編成することができる。

●バスケットボール	5人	●サッカー	11人
●ハンドボール	7人	●軟式野球	9人
●バレーボール	6人	●ソフトボール	9人
●ラグビー	16人		

(2) 編成の組合せ

① (1)の条件に当てはまるチーム同士の複数校合同チーム

② (1)の条件に当てはまるチームと出場最低人数を満たしているチームとの複数校合同チーム

ただし、②で生じた複数校合同チーム内で出場最低人数を満たしているチームが単独チームとしても成り立つ場合、単独チームとしての出場も認める。

(3) その他

選手力の強化を目的とした合同チームの編成はこれを認めない。

3 複数校合同の範囲

原則として、2校間での編成とするが、3校以上で編成する場合は、事前に事務局へ連絡する。

また、その範囲は、原則として区内の範囲とするが、区内で編成できない場合は、隣接する区とする。隣接する区の中でも編成することができない場合は、より近い学校との編成とする。ラグビーについてはこの限りではない。

なお、原則として、県総体要項参加規程に準ずる。

4 その他

(1) 当該年度の前年度名古屋市中学校総合体育大会以降に複数校合同チームが結成され、活動実績のあるものについては、新入生の入部等で出場最低人数を上回った場合でも、継続して合同チームとして参加を認める。

(2) 複数校合同チームによる愛知県中学校総合体育大会への参加については、愛知県中学校総合体育大会実施要項による。

全国中学校体育大会学齡外（過年齢）生徒の大会参加届について

全国中学校体育大会に、学齡外（過年齢）生徒が参加を希望する場合は、その年度の6月30日までに、都道府県中学校体育連盟を通して（公財）日本中学校体育連盟に申し出ることとなっています。

該当生徒がいる場合は、各中学校より愛知県中小学校体育連盟（052-251-8114）から「参加届」を取り寄せ、下記へ提出してください。

◇ 名古屋市立中学校 → 名古屋市教育委員会 部活動振興課内 名古屋市小中学校体育連盟へ 文書交換で

◇ 国立・私立中学校 → 〒460-0007 中区新栄一丁目49-10 愛知県中小学校体育連盟へ 郵送で

複数校合同チーム申請書

令和 年 月 日

名古屋市小中学校体育連盟会長 様

中学校

校長氏名 _____

所在地

電 話

複数校合同チーム申請書

下記のように合同チームを編成し、第62回名古屋市中学校総合体育大会に出場したいと思
いますので申請いたします。

種 目	(男子の部・女子の部)
監 督 氏 名	
部 員 数	_____ 名
相 手 校 名	名古屋市立 _____ 中学校
相手校部員数	_____ 名

※出場種目の参加申込期日一週間前までに、小中体連事務局へ提出すること。

